令 和 ９ 年 度

富 山 県 立 高 等 学 校
入 学 者 選 抜 実 施 要 領

富 山 県 教 育 委 員 会

目　　次

令和９年度富山県立高等学校入学者選抜実施要領

全日制の課程一般入学者選抜----------Ｐ 1
全日制の課程推薦入学者選抜----------Ｐ 4
全日制の課程第２次選抜----------Ｐ 6
全日制の課程県外及び海外からの志願者の取り扱い----------Ｐ 7
全国募集による入学者選抜----------Ｐ 9
定時制の課程（単位制前期）入学者選抜----------Ｐ12
定時制の課程（単位制以外）入学者選抜----------Ｐ14
定時制の課程（単位制後期）入学者選抜----------Ｐ17
通信制の課程入学者選抜----------Ｐ18
富山県立中央農業高等学校農業特別専攻科入学者選抜----------Ｐ19
富山県立富山いずみ高等学校専攻科入学者選抜----------Ｐ19
富山県立雄峰高等学校専攻科入学者選抜----------Ｐ20
富山県立小矢部園芸高等学校専攻科入学者選抜----------Ｐ20
入学志願者調査書及び学習成績等一覧表の記入上の注意----------Ｐ21
調査書及び学習成績等一覧表の様式----------Ｐ27
入学志願に関する各書類様式----------Ｐ28
学校別入学者選抜実施概要一覧----------Ｐ42
（全日制の課程・定時制の課程・通信制の課程・専攻科）

＜参考＞
令和９年度富山県立高等学校第１学年募集定員----------Ｐ48
（全日制の課程・定時制の課程・通信制の課程・専攻科）
令和９年度富山県立高等学校入学者選抜日程----------Ｐ50

令和９年度富山県立高等学校入学者選抜実施要領
全日制の課程一般入学者選抜

１　募集定員

各高等学校の募集定員は別に示す。

２　志願資格

次の⑴～⑶のいずれかに該当する者であって、現在、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校高等部又は高等専門学校のいずれにも在籍していない者

⑴　中学校又はこれに準ずる学校を令和９年３月に卒業する見込みの者

⑵　中学校又はこれに準ずる学校を卒業した者

⑶　中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

３　志願期間

令和９年２月24日(水)から同月26日(金)までの間、毎日午前９時から午後４時までとする。ただし、２月26日(金)は正午までとする。

なお、郵送により調査書等を提出する場合は書留速達とし、２月25日(木)正午までの消印のあるものに限り受け付ける。また、別途、出願書類郵送連絡票（様式23）により、その旨を志願先高等学校長に連絡する。

４　志願の方法

⑴　志願は、１校１学科に限る。ただし、工業又は商業に関する学科を志願する者は、同一校のそれぞれの学科内に限り、第２順位まで志願することができる。

なお、第２順位を志願する場合は２つ以上にわたることができる。

⑵　富山高等学校、富山中部高等学校、高岡高等学校の普通科又は理数科学科・人文社会科学科を志願する者は、同一校の理数科学科・人文社会科学科又は普通科に限り、第２順位まで志願することができる。また、南砺福野高等学校普通科又は国際科を志願する者は、同校の国際科又は普通科に限り、第２順位まで志願することができる。

⑶　県外及び海外からの志願者の取り扱いについては、別に定める。

⑷　志願者が行う手続は、次の①～③のとおりとする。

①　志願者は、富山県立高等学校入学者選抜インターネット出願システム（以下「出願システム」という。）に出願に必要な情報（以下「出願情報」という。）を入力する。

②　志願者は、2,200円の入学考査手数料をクレジットカードによるオンライン決済、コンビニエンスストア支払、ペイジー支払のいずれかで納付する。ただし、納入された入学考査手数料の返還は行わない。

③　①、②の後、出願システム上で出身の中学校又はこれに準ずる学校の校長（以下「中学校長等」という。）の承認を得る。

⑸　中学校長等が行う手続は、次の①、②のとおりとする。

①　中学校長等は、出願システム上で出願情報に誤りがないこと及び入学考査手数料が納付されていることを確認した後、出願情報等を承認し、志願先高等学校長に出願情報等を送信する。

②　中学校長等は、出願システム上で送信した出願情報等を志願先高等学校長が受け付けたことを確認した後、志願期間内に、志願先高等学校長に承認した志願者の調査書を書面で提出する。その際に、一般入学志願者名簿（様式１）を書面で２部作成し、調査書とともに提出する。

なお、下表に定める学校、学科・コースを志願する者は、志願先高等学校長の定める提出書類等を調査書とともに書面で提出する。

学　　校	学　科　・　コ　ー　ス	提　出　書　類　等
富山北部　高等学校	普通科・体育コース	実技検査選択種目届出書
呉　　羽　高等学校	普通科・音楽コース	受検曲票、楽譜

⑹　高等学校長が行う手続は、次の①、②のとおりとする。

①　高等学校長は、出願システム上で受信した出願情報等の内容が適正であると認めた際は、受付処理を行う。

②　高等学校長は、中学校長等から調査書を書面で受領する。その際に、中学校長等から提出された一般入学志願者名簿２部のうち１部を押印のうえ、受領証として中学校長等に返却する。

⑺　志願者は、視力、聴力、肢体状況、疾病等と関わって、受検に際して特に配慮を必要とする場合、出願前に中学校長等に連絡する。中学校長等は、配慮を必要とする者の志願に当たり、出願１週間前までを目途に志願先高等学校長に連絡し、調査書とともに受検上の配慮申請書（様式９）を書面で提出する。

配慮内容は、志願先高等学校長が富山県教育委員会と協議のうえで決定する。

なお、希望する配慮事項が受検上の配慮申請書の「その他」に該当する場合、中学校長等は、志願者が志願先高等学校を決定する前に、各教育事務所を通じて富山県教育委員会に相談することができる。

⑻　中学校等の第２学年、第３学年のいずれか又は両方で、年間の欠席日数が30日程度以上ある者で、自己申告

書の提出を希望する者は、調査書とともに自己申告書（様式10）を、中学校長等を経て、志願先高等学校長に書面で提出することができる。

⑼　中学校等には、校長を委員長とする選抜資料作成委員会を設ける。

⑽　中学校長等は、志願者の志願学科や志願校の選定に当たって、本人の能力・適性等に応じて適切な進路指導を行う。

⑾　中学校長等は、学習成績等一覧表を令和９年１月19日(火)までに、各教育事務所を経て、富山県教育委員会に２部提出する。

⑿　帰国生徒としての志願に当たっては、調査書とともに海外在住状況等説明書（様式11）を、志願先高等学校長に書面で提出する。

なお、ここでいう帰国生徒とは、海外における在住期間が継続して２年以上の者で、志願時において帰国後３年以内の者等をいう。

⒀　外国人特別措置の適用を希望する外国籍を有する者は、調査書とともに外国人特別措置適用申請書（様式12）を、出身中学校長等を通じて、志願先高等学校長に書面で提出することができる。

なお、外国人特別措置の適用対象者は、志願時において入国後６年以内の外国籍を有する者とする。

５　受検票の交付

⑴　高等学校長は、出願システム上で志願者に受検票を交付する。交付の日時は、富山県教育委員会が定めるものとする。

⑵　志願者は、出願システムから受検票を印刷する。

６　学力検査

⑴　学力検査は、県下一斉に実施する。

⑵　検査教科は、国語、社会、数学、理科及び英語（聞き取りテストを含む。）の５教科とし、各教科の配点は40点とする。

なお、英語聞き取りテストが中止となった場合、当該校では聞き取りテスト部分を除いて40点に換算する。

⑶　検査問題は、富山県教育委員会教育長の委嘱する検査問題作成委員会が作成する。

⑷　志願者は、志願した高等学校で学力検査を受けなければならない。

⑸　検査日は、令和９年３月９日(火)、３月10日(水)の２日間で、下に示す日程によって行う。ただし、自然災害や公共交通機関の遅延、その他の特別な事情により、この日程で実施することが困難な場合、高等学校長は、富山県教育委員会と協議して検査の開始及び終了の時刻等を変更することができる。

<table>
<tr><td rowspan="2">第　１　日
３月９日（火）</td><td>9:30までにおいて
各高等学校長が定める時間</td><td colspan="2">9:30 ～ 10:20</td><td>10:40～11:30</td><td>11:50～12:40</td></tr>
<tr><td>出席調査及び諸準備</td><td colspan="2">社　　会</td><td>国　　語</td><td>理　　科</td></tr>
<tr><td rowspan="3">第　２　日
３月10日（水）</td><td rowspan="2">9:30までにおいて
各高等学校長が定める時間</td><td>9:30~9:45 ※</td><td>10:00~10:40</td><td>11:00～11:50</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">出席調査及び諸準備</td><td>聞き取り</td><td>筆　記</td><td rowspan="2">数　　学</td></tr>
<tr><td colspan="2">英　　語</td></tr>
</table>

※　英語聞き取りテストについては、9:30から9:45までの間に10分間程度で実施する。

⑹　外国人特別措置は、学力検査問題の漢字にふりがなを付すこととする。ただし、設問の都合上、ふりがなを付さない場合がある。

⑺　受検者の携行しなければならないものは、受検票、筆記用具、コンパス、定規（三角定規又は直線定規）、その他志願先高等学校長から指示されたものとする。

⑻　各検査会場における検査の実施・採点など、検査の管理は高等学校長がこれに当たる。

７　選抜の方法

⑴　高等学校長は、入学志願者について中学校長等から提出された調査書等の資料、学力検査の成績等に基づいて、各高等学校の当該学科の教育を受けるに足る能力・適性等を判定して選抜する。

⑵　高等学校長は、入学者選抜のため、校長を委員長とする選抜委員会を設ける。

⑶　高等学校長は、選抜に当たって、次のア、イ、ウにより、調査書評定点を150点満点で算出する。

ア　学習の記録における２年次の各教科の評定による評定点　（45点満点）

イ　学習の記録における３年次の各教科の評定それぞれに２を乗じたものによる評定点　（90点満点）

ウ　特別活動等、学習の記録以外の記載事項を換算したものによる評定点　（15点満点）

⑷　高等学校長は、選抜に当たって、調査書評定点と学力検査の成績とを対比し、同等に扱い、判定することを原則とする。ただし、調査書評定点又は学力検査の成績が、募集定員（推薦入学者選抜において合格内定の通知を受けた者及び全国募集による入学者選抜において合格が決定した者の数を除いた数）の上位10%以内にある場合は、調査書評定点又は学力検査の成績の一方により、判定することができるものとする。

⑸　高等学校長は、選抜に当たって、富山県教育委員会の承認を得て、専門学科及び普通科に設置されているコ

ースの特色に応じて、調査書や学力検査の教科の配点の比重を変えることができる。

⑹　高等学校長は、選抜に当たって、「学習の記録」の評定及び「特別活動」の評価を除く調査書中の他の記録についても審査する。

⑺　高等学校長は、選抜に当たって、調査書に理解が困難な事項があった場合には、該当の中学校長等に説明を求めることができる。また、富山県教育委員会に照会することができる。

⑻　高等学校長は、富山県教育委員会の承認を得て、各高等学校又は各高等学校の学科及びコースごとに、志願者に対し、面接や専門に関する実技検査等を行い、その結果を選抜の資料に加えることができる。

⑼　高等学校長は、選抜に当たって、第１順位志願を尊重するが、その学科における総合判定による順位の下位者よりも優れていると判定された第２順位志願者を合格させることができる。

⑽　高等学校長は、上記⑶～⑼に基づき、総合的に判定して合格者を決定する。

⑾　高等学校長は、入学が適当と認められる者の数が募集定員に満たない場合には、富山県教育委員会と協議のうえ、合格者数を募集定員内にとどめることができる。

⑿　帰国生徒の選抜に当たっては、高等学校長は、面接を実施し、その結果及び海外での経験等を十分考慮して行うものとする。

８　追検査

⑴　次のア、イのいずれかに該当し、学力検査の第１日、第２日の両日の全日程又は第２日の全日程を欠席した者のうち、下記⑵又は⑶の手続を行ったうえ志願先高等学校長からの許可を得た者は、追検査を受検することができる。

ア　インフルエンザ罹患等により別室における受検も困難な者

イ　やむを得ない理由のある者

⑵　追検査の受検を希望する者は、その旨を欠席した当日の正午までに、中学校長等を経て、志願先高等学校長に連絡するとともに、欠席理由を証明する書類を添えた追検査受検申請書（様式16）を令和９年３月12日(金)午後３時までに、中学校長等を経て、志願先高等学校長に書面で提出する。

⑶　県外及び海外からの志願者で追検査の受検を希望する者は、その旨を欠席した当日の正午までに、志願先高等学校長に直接連絡するとともに、欠席理由を証明する書類を添えた追検査受検申請書（県外及び海外からの志願者用）を所定の日時までに、志願先高等学校長に直接提出する。

⑷　追検査は志願先高等学校において、令和９年３月15日(月)に、下に示す日程によって行う。

<table>
<tr><td>9:30までにおいて各高等学校長が定める時間</td><td>9:30～10:20</td><td>10:40～11:30</td><td>11:50～12:40</td><td>12:40～13:40の間において各高等学校長が定める時間</td><td>13:40～13:55 ※</td><td>14:10～14:50</td><td>15:10～16:00</td></tr>
<tr><td rowspan="2">出席調査及び諸準備</td><td rowspan="2">社　会</td><td rowspan="2">国　語</td><td rowspan="2">理　科</td><td rowspan="2">出席調査及び諸準備</td><td>聞き取り</td><td>筆　記</td><td rowspan="2">数　学</td></tr>
<tr><td colspan="2">英　　語</td></tr>
</table>

※　英語聞き取りテストについては、13:40から13:55までの間に10分間程度で実施する。

⑸　その他、上記５、６、７を準用する。

９　合格者の発表

令和９年３月18日(木)午後０時30分に、出願システム上で行う。

10　その他

⑴　高等学校長は、志願期間中、学科別の志願者数を毎日午後２時現在で発表掲示する。

⑵　中学校長等は、学力検査を欠席する入学志願者の氏名等を、欠席者連絡票（様式13）等により、志願先高等学校長に連絡する。

⑶　高等学校長は、検査時において、カンニングをすることや他の受検者の迷惑となる行為をすること、検査監督者の指示に従わないことなどの不正行為を行った者に対しては、入学を許可しないものとする。

⑷　ここに定めるもののほか、一般入学者選抜に関し必要な事項及び特別な事態が生じた場合の措置は、富山県教育委員会教育長がこれを定める。

全日制の課程推薦入学者選抜

1　対象学科及び募集人員

⑴　全日制の課程の普通科に設置されている各コース、専門学科及び総合学科において、推薦入学を実施する。各高等学校の募集人員は別に示す。

⑵　推薦入学による募集人員は、富山県教育委員会と協議のうえ、下記の範囲内で、各高等学校長が定める。

・普通科に設置されている各コース〈学級定員の50％以内〉
（ただし、呉羽高等学校普通科音楽コース、富山北部高等学校普通科体育コースは60％以内）
・国際科及び国際交流科〈募集定員の40％以内〉
・専門学科（国際科及び国際交流科を除く。）〈募集定員の50％以内〉
・総合学科〈募集定員の40％以内〉

ただし、募集人員が上記範囲の上限に達していない場合は、各高等学校長の判断で募集人員に「程度」と表記することができる。

⑶　推薦入学を実施する学校は、富山県教育委員会と協議のうえ、学科及びコースの特色に応じて、２の志願資格⑷におけるａ、ｂ、ｃ、ｄの各項目別に募集人員等を明示することができる。

2　志願資格

中学校又はこれに準ずる学校を令和９年３月に卒業する見込みの者で、次の⑴～⑷の条件を満たし、中学校長等の推薦を得た者で、合格内定となった場合は、当該高等学校への入学を確約できる者とする。

⑴　当該学校、学科、コースを志望する動機が明白であり、目的意識を有すること。

⑵　当該学校、学科、コースに関する興味・関心があり、適性を有すること。

⑶　当該学校、学科、コースにおける各教科・科目の履修に必要な学力を有し、人物が優れていること。

⑷　次のａ、ｂ、ｃ、ｄいずれかに該当し、入学後の諸活動に成果が期待される者であること。

ａ　調査書の「学習の記録」が優良であること。
ｂ　専門に関する優れた能力又は実績があること。
ｃ　芸術、文化、体育のいずれかの分野において優れた能力又は実績があること。
ｄ　生徒会活動、社会奉仕活動等学校内外における自発的な活動に継続して積極的に取り組んだ実績があること。

3　志願期間

令和９年２月１日(月)から同月３日(水)までの間、毎日午前９時から午後４時までとする。ただし、２月３日(水)は正午までとする。

なお、郵送により調査書等を提出する場合は書留速達とし、２月２日(火)正午までの消印のあるものに限り受け付ける。また、別途、出願書類郵送連絡票（様式23）により、その旨を志願先高等学校長に連絡する。

4　志願の方法

⑴　志願は、対象学科、コースのうち１校１学科又は１コースに限る。

⑵　県外及び海外からの志願者の取り扱いについては、別に定める。

⑶　志願者が行う手続は、次の①～③のとおりとする。

①　志願者は、出願システムに出願情報を入力する。
②　志願者は、2,200円の入学考査手数料をクレジットカードによるオンライン決済、コンビニエンスストア支払、ペイジー支払のいずれかで納付する。ただし、納入された入学考査手数料の返還は行わない。
③　①、②の後、出願システム上で中学校長等の承認を得る。

⑷　中学校長等が行う手続は、次の①、②のとおりとする。

①　中学校長等は、出願システム上で出願情報に誤りがないこと及び入学考査手数料が納付されていることを確認した後、出願情報等を承認し、志願先高等学校長に出願情報等を送信する。
②　中学校長等は、出願システム上で送信した出願情報等を志願先高等学校長が受け付けたことを確認した後、志願期間内に、志願先高等学校長に承認した志願者の調査書及び推薦書（様式２）を書面で提出する。その際に、推薦入学志願者名簿（様式３）を書面で２部作成し、調査書とともに提出する。

なお、下表に定める学校、学科・コースを志願する者は、志願先高等学校長の定める提出書類等を調査書とともに書面で提出する。

学　　校	学　科　・　コ　ー　ス	提　出　書　類　等
富山北部　高等学校	普通科・体育コース	運動競技実績報告書 実技検査選択種目届出書
呉　　羽　高等学校	普通科・音楽コース	受検曲票、楽譜

⑸　高等学校長が行う手続は、次の①、②のとおりとする。

①　高等学校長は、出願システム上で受信した出願情報等の内容が適正であると認めた際は、受付処理を行う。

② 高等学校長は、中学校長等から調査書等を書面で受領する。その際に、中学校長等から提出された推薦入学志願者名簿２部のうち１部を押印のうえ、受領証として中学校長等に返却する。

⑹ 志願者は、視力、聴力、肢体状況、疾病等と関わって、受検に際して特に配慮を必要とする場合、出願前に中学校長等に連絡する。中学校長等は、配慮を必要とする者の志願に当たり、出願１週間前までを目途に志願先高等学校長に連絡し、調査書とともに受検上の配慮申請書（様式９）を書面で提出する。

配慮内容は、志願先高等学校長が富山県教育委員会と協議のうえで決定する。

なお、希望する配慮事項が受検上の配慮申請書の「その他」に該当する場合、中学校長等は、志願者が志願先高等学校を決定する前に、各教育事務所を通じて富山県教育委員会に相談することができる。

⑺ 中学校等には、校長を委員長とする推薦委員会を設ける。推薦委員会は、推薦入学に関する事項を取り扱い、被推薦者の決定は校長が行う。

５ 受検票の交付

⑴ 高等学校長は、出願システム上で志願者に受検票を交付する。交付の日時は、富山県教育委員会が定めるものとする。

⑵ 志願者は、出願システムから受検票を印刷する。

６ 選抜の方法

⑴ 推薦入学志願者については、面接を実施し、学力検査を行わない。

⑵ 高等学校長は、特に必要と認める場合は、志願者に作文、専門に関する実技検査等を課すことができる。

⑶ 高等学校長は、中学校長等から提出された調査書、推薦書等の書類並びに面接等の結果を資料として総合的に判定し、合格内定者を決定する。その際、募集人員に「程度」の表記のある高等学校の校長は、「全日制の課程推薦入学者選抜」の１の⑵で定められた範囲の上限を超えないことを条件として、募集人員を２名まで超えて合格内定者を決めることができる。

⑷ 面接等は、令和９年２月９日(火)午前９時から、志願先高等学校において、当該高等学校長が定める日程によって行う。

⑸ 志願者の携行しなければならないものは、受検票、その他志願先高等学校長から指示されたものとする。

⑹ 高等学校長は、入学者選抜のため、校長を委員長とする選抜委員会を設ける。

⑺ 高等学校長は、選抜に当たって、調査書、推薦書等に理解が困難な事項があった場合には、該当の中学校長等に説明を求めることができる。また、富山県教育委員会に照会することができる。

７ 合格者の発表

⑴ 合格内定の通知

ア 令和９年２月15日(月)午前10時に、出願システム上で行う。

イ 合格内定の通知を受けた者は、他の公立高等学校を志願することができない。

ウ 高等学校長は、推薦入学選考結果通知書（様式４）を令和９年２月15日(月)の午前10時から正午までの間に投函し、郵送することにより、選考結果を中学校長等に通知する。

⑵ 合格者の発表

合格内定の通知を受けた者について、令和９年３月18日(木)午後０時30分に、出願システム上で行う。

８ 合格内定とならなかった者の扱い

⑴ 推薦入学に志願し、合格内定とならなかった者は、「令和９年度富山県立高等学校入学者募集要項」及び本実施要領に定める各課程の選抜についての手続により、改めて志願することができる。その際、志願先高等学校が全日制の課程の場合は、入学考査手数料が免除される。

⑵ 改めて志願する場合にも、志願者は、出願システムに出願情報を入力し、中学校長等の承認を得て、志願先高等学校長に出願情報等を送信するものとする。中学校長等は、志願先高等学校長が出願情報等を受け付けたことを確認した後、志願先高等学校長に、承認した志願者の調査書を書面で提出するものとする。

９ その他

⑴ 高等学校長は、志願期間中、学科別の志願者数を毎日午後２時現在で発表掲示する。

⑵ 富山県教育委員会は、令和９年２月15日(月)に合格内定の通知を受けた者の数を発表する。

⑶ 中学校長等は、面接等を欠席する入学志願者の氏名等を、欠席者連絡票（様式13）等により、志願先高等学校長に連絡する。

⑷ 高等学校長は、検査時において、カンニングをすることや他の受検者の迷惑となる行為をすること、検査監督者の指示に従わないことなどの不正行為を行った者に対しては、入学を許可しないものとする。

⑸ ここに定めるもののほか、推薦入学者選抜に関し必要な事項及び特別な事態が生じた場合の措置は、富山県教育委員会教育長がこれを定める。

全日制の課程第２次選抜

１　第２次選抜実施校の決定

富山県教育委員会は、全日制の課程一般入学者選抜（以下「第１次選抜」という。）及び推薦入学者選抜の合格者の発表（令和９年３月18日(木)）の後、同日に第２次選抜を行う学校、学科及び募集定員を決定し、発表する。

２　志願資格

志願できる者は、「全日制の課程一般入学者選抜」に基づいて志願し、５教科の学力検査を受検した者に限る。ただし、既に合格が決定した者は志願することができない。

３　志願期間

令和９年３月19日(金)及び同月23日(火)の両日とし、両日とも午前９時から午後４時までとする。

なお、郵送により必要な書類を提出する場合は書留速達とし、３月23日(火)午後４時までに志願校に必着とする。また、別途、出願書類郵送連絡票（様式23）により、その旨を志願先高等学校長に連絡する。県外及び海外からの志願者は４の志願の方法⑹に従うものとする。

４　志願の方法

⑴　志願は、１校１学科に限る。ただし、第２順位志願については、第１次選抜に準ずる。また、第１次選抜で志願した高等学校の同一学科を志願することはできない。

⑵　志願者が行う手続は、次の①、②のとおりとする。

①　志願者は、出願システムに出願情報を入力する。

②　①の後、出願システム上で中学校長等の承認を得る。

⑶　中学校長等が行う手続は、次の①、②のとおりとする。

①　中学校長等は、出願システム上で出願情報に誤りがないことを確認した後、出願情報を承認し、第２次選抜志願先高等学校長に出願情報を送信する。

②　中学校長等は、出願システム上で送信した出願情報を第２次選抜志願先高等学校長が受け付けたことを確認した後、令和９年３月23日(火)午後４時までに、第２次選抜志願先高等学校長に第２次選抜志願者名簿（様式17）を、第１次選抜志願先高等学校長に第２次選抜志願者名簿（様式18）を、それぞれ書面で２部ずつ作成して直接提出する。

⑷　第１次選抜志願先高等学校長は、中学校長等から提出された第２次選抜志願者名簿２部のうち１部を押印のうえ、受領証として中学校長等に返却する。

⑸　第２次選抜志願先高等学校長が行う手続は、次の①、②のとおりとする。

①　第２次選抜志願先高等学校長は、出願システム上で受信した出願情報の内容が適正であると認めた際は、出願システム上で受付処理を行う。

②　第２次選抜志願先高等学校長は、中学校長等から提出された第２次選抜志願者名簿２部のうち１部を押印のうえ、受領証として中学校長等に返却する。

⑹　県外及び海外からの志願者で第２次選抜に志願する者が行う手続は、次の①～③のとおりとする。

①　志願者は、出願システム上に出願情報を入力する。

②　①の後、出願システム上で中学校長等の承認を得る。

③　所定の日時までに、第２次選抜志願先高等学校長に第２次選抜申請書（様式19）を、第１次選抜志願先高等学校長に第２次選抜志願についての申請書（様式20）をそれぞれ書面で提出する。

⑺　第１次選抜志願先高等学校長は、中学校長等から提出された第２次選抜志願者名簿（様式18）並びに県外及び海外からの志願者から提出された第２次選抜志願についての申請書（様式20）に基づき、当該志願者の学力検査成績証明書（様式21）を作成して調査書の裏面に貼付し、富山県教育委員会の指示する日時に、送付状（様式22）２部を添えて、第２次選抜志願先高等学校長に書面で提出する。第２次選抜志願先高等学校長は、送付状１部を押印のうえ、受領証として第１次選抜志願先高等学校長に返却する。

５　学力検査

学力検査は、実施しない。

６　選抜の方法

⑴　第２次選抜志願先高等学校長は、第１次選抜志願先高等学校長から提出を受けた学力検査の成績と調査書等によって選抜する。

⑵　上記⑴のほか、「全日制の課程一般入学者選抜」の７を準用する。

７　合格者の発表

令和９年３月26日(金)午後０時30分に、出願システム上で行う。

８　その他

第２次選抜合格者で、第１次選抜に志願した高等学校において補欠入学を認められた者は、第１次選抜志願先高等学校への入学を優先させる。

全日制の課程県外及び海外からの志願者の取り扱い

1　志願資格

推薦入学者選抜は、「全日制の課程推薦入学者選抜」の２を満たし、次の⑴～⑷の条件のいずれかに該当する者。一般入学者選抜は、県外及び海外の中学校又はこれに準ずる学校を、令和９年３月までに卒業する見込みの者又は卒業した者で、次の⑴～⑷の条件のいずれかに該当する者

⑴　本人及びその保護者が本県内に居住していること。

⑵　本人及びその保護者が近く本県内に居住することが確実であること。

⑶　隣接県に居住する者で、地形、交通等の関係上、その県の高等学校に通学することが困難であること。

⑷　その他特別な事情があること。

2　志願許可の手続

⑴　次の書類を富山県教育委員会教育みらい室県立高校課に書面で提出しなければならない。

ア　富山県立高等学校入学志願特別事情申請書（様式14）

イ　志願資格⑴～⑷の事項を証明する資料（保護者の住民票の写し又は保護者の本県への転勤等に関する所属長の証明書類など）

⑵　受付期間

推薦入学者選抜志願の場合は、令和９年１月15日(金)から同月29日(金)までの間(日曜日及び土曜日を除く。)、毎日午前９時から午後４時までとする。ただし、１月29日(金)は正午までとする。

一般入学者選抜志願の場合は、令和９年１月15日(金)から同年２月22日(月)までの間(日曜日、土曜日及び祝日を除く。)、毎日午前９時から午後４時までとする。ただし、２月22日(月)は正午までとする。

なお、これらの期間内において志願許可の手続ができなかった者については、その事情を調査した結果、やむを得ないと認めた場合に限り、受理することがある。

3　志願許可書の交付及び学習成績等一覧表の提出

富山県教育委員会は、提出された書類を審査し、理由が適当と認めた者に対して、県外・海外志願許可書（様式15）を交付する。

県外・海外志願許可書の交付を受けた者は、調査書とともに県外・海外志願許可書を、出身中学校長等を経て、志願先高等学校長に書面で提出する。郵送のものについては、書留速達とし、推薦入学者選抜志願の場合は２月２日(火)正午までの、一般入学者選抜志願の場合は２月25日(木)正午までの消印のあるものに限り、受け付ける。また、別途、出願書類郵送連絡票（様式23）により、その旨を志願先高等学校長に連絡する。

中学校長等は、本県所定の学習成績等一覧表（Ｐ27の様式)、もしくは、これに代わる各都道府県所定のものを書面で２部作成し、推薦入学者選抜志願の場合は１部を令和９年２月２日(火)正午までに、一般入学者選抜志願の場合は１部を令和９年２月25日(木)正午までに、富山県教育委員会教育みらい室県立高校課長あてに、親展書留にて提出し、１部を志願期間内に、調査書とともに志願先高等学校長に提出する。

4　志願手続等一覧

志願許可申請から志願までの手続を下に示す。

手　続		申請書類等	記載者、提出先等
1	特別事情申請書の準備 （志　願　者）	本県所定の特別事情申請書（様式14） 志願資格⑴～⑷の事項を証明する書類の準備 （「転勤等証明書」=保護者の転勤に関する所属長の証明）	志願者が準備する。
2	特別事情の証明（１） （出身中学校長等）	特別事情申請書、転勤等証明書の提出	出身中学校長等に提出し、証明を受ける。
3	特別事情の証明（２） (出身都道府県教育委員会教育長)	出身中学校長等の証明を受けた特別事情申請書 （志願者が提出した転勤等証明書を添付）	出身都道府県教育委員会に提出し、証明を受ける。
4	特別事情申請書の提出 （志　願　者）	出身都道府県教育委員会教育長の証明を受けた特別事情申請書（１部） （志願者が提出した転勤等証明書を添付） ※郵送を希望する場合、返信用封筒（切手貼付）も提出する。（書留等の扱いや、封筒の大きさは問わない。）	富山県教育委員会教育みらい室県立高校課に提出する。
5	特別事情申請書の審査 （富山県教育委員会）	富山県教育委員会が志願者の提出した特別事情申請書を審査し、本県所定の県外・海外志願許可書（様式15）を交付する。	
6	出願情報の入力 （志　願　者）	志願者が出願システムに出願情報を入力し、入学考査手数料を納付する。	
7	志願書類の提出（１） （志　願　者）	富山県教育委員会が交付した県外・海外志願許可書	志願者が出身中学校長等に提出する。

手　続		申請書類等	記載者、提出先等
8	志願書類の提出(２) (出身中学校長等)	志願者の提出書類（県外・海外志願許可書） 本県所定の調査書、一般入学志願者名簿（様式１、２部） （推薦入学者選抜の場合は、本県所定の調査書、推薦書、推薦入学志願者名簿（様式３、２部）） 学習成績等一覧表（１部） ※郵送による志願の場合、受領証返信用封筒（親展書留、切手貼付）も添付する。	出身中学校長等が志願先高等学校長に提出する。
9	学習成績等一覧表の提出 (出身中学校長等)	学習成績等一覧表（１部）	富山県教育委員会教育みらい室県立高校課長に親展書留にて提出する。
10	志願の確認 (富山県教育委員会)	富山県教育委員会は、志願先高等学校長に志願を確認する。	

＜**調査書の記入について**＞（書面で作成）

⑴　本県所定の調査書（Ｐ27の様式）を用いること。

⑵　記入については、「入学志願者調査書及び学習成績等一覧表の記入上の注意」（Ｐ21～Ｐ23記載）によるが、特に、以下の点に注意すること。

ア　学習の記録欄

・評定は出身都道府県で定めている方法に従ってよい。ただし、相対評価の場合は、特記事項欄にその旨を記入し、さらに各都道府県で定めている各学年の評定段階の配分率等を記入する。配分率等が定められていない場合は、その旨を記入する。

イ　総合的な学習の時間欄

・観点の欄（「知識・技能」「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」）を斜線で消す。評価の欄は記入しなくてよい。学習活動等の欄に、出身都道府県で定められた記述の仕方に従い、学習活動、観点、生徒の学習状況の顕著な事項等を記載する。

ウ　特別活動欄・行動の記録欄

・評価の欄には、中学校生徒指導要録の３年次の評価を転記する。現在第３学年に在籍中の者については、第３学年第２学期までの評価とする。

エ　備考欄

・特記すべきことがあれば記述する。

＜**学習成績等一覧表の記入について**＞（書面で作成）

⑴　海外から出願する場合は、これに代わる校長の証明書類を提出する。

⑵　記入の詳細については、「入学志願者調査書及び学習成績等一覧表の記入上の注意」（Ｐ21～Ｐ23記載）を参照すること。

５　その他

⑴　海外からの志願者のうち、海外における在住期間が継続して２年以上の者については、「全日制の課程一般入学者選抜」４の志願の方法⑿を参照すること。

⑵　志願者は、視力、聴力、肢体状況、疾病等と関わって、受検に際して特に配慮を必要とする場合、出願前に中学校長等に連絡する。中学校長等は、配慮を必要とする者の志願に当たり、出願１週間前までを目途に志願先高等学校長に連絡し、調査書とともに受検上の配慮申請書（様式９）を書面で提出する。

配慮内容は、志願先高等学校長が富山県教育委員会と協議のうえで決定する。

なお、希望する配慮事項が受検上の配慮申請書の「その他」に該当する場合、中学校長等は、志願者が志願先高等学校を決定する前に、富山県教育委員会に相談することができる。

⑶　その他、本実施要領の各項を参照すること。

⑷　不明の点があれば、富山県教育委員会教育みらい室県立高校課に問い合わせること。

〒930-8501

富山市新総曲輪１番７号　　富山県教育委員会教育みらい室県立高校課高校教育担当(電話076-444-3450)

全国募集による入学者選抜

１　募集定員

募集は、氷見高等学校及び南砺平高等学校において行い、各高等学校の募集定員は別に示す。

２　志願資格

次の⑴～⑸の条件をすべて満たし、現在、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校高等部又は高等専門学校のいずれにも在籍していない者とする。

⑴　富山県外（日本国内）の中学校又はこれに準ずる学校を、令和９年３月に卒業する見込みの者又は卒業した者であること。ただし、南砺平高等学校については、岐阜県の白川村立白川郷学園に在学し、同校を卒業する見込みの者又は卒業した者は除く。

⑵　志願する高等学校への入学を強く希望し、志願理由が明確であること。

⑶　合格となった場合は、入学を確約できる者であること。

⑷　志願者及び保護者が富山県外に居住していること。

⑸　志願者が入学以降、保護者を伴わず富山県内に居住すること。

３　志願許可の手続

⑴　次の書類を富山県教育委員会教育みらい室県立高校課に書面で提出しなければならない。

ア　全国募集志願許可申請書（全国様式１）

イ　志願資格⑷の事項を証明する資料（志願者及び保護者の住民票の写し等）

⑵　受付期間

令和９年１月15日(金)から同月29日(金)までの間（日曜日及び土曜日を除く。)、毎日午前９時から午後４時までとする。ただし、１月29日(金)は正午までとする。

⑶　志願許可書の交付

富山県教育委員会は、提出された書類を審査し、適当と認めた者に対して、全国募集志願許可書（全国様式２）を交付する。全国募集志願許可書について郵送を希望する場合は、返信用封筒（切手貼付）も併せて提出する。（書留等の扱いや、封筒の大きさは問わない。）

４　志願期間

令和９年２月１日(月)から同月３日(水)までの間、毎日午前９時から午後４時までとする。ただし、２月３日(水)は正午までとする。

なお、郵送により調査書等を提出する場合は書留速達とし、２月２日(火)正午までの消印のあるものに限り受け付ける。また、受領証返信用封筒（親展書留、切手貼付）も添付し、別途、出願書類郵送連絡票（様式23）により、その旨を志願先高等学校長に連絡する。

５　志願の方法

⑴　志願は、１校１学科に限る。

⑵　志願を許可され、全国募集志願許可書の交付を受けた者は、他の都道府県の公立高等学校へ志願することができない。

⑶　志願者が行う手続は、次の①～④のとおりとする。

①　志願者は、出願システムに出願情報を入力する。

②　志願者は、2,200円の入学考査手数料をクレジットカードによるオンライン決済、コンビニエンスストア支払、ペイジー支払のいずれかで納付する。ただし、納入された入学考査手数料の返還は行わない。

③　①、②の後、出願システム上で中学校長等の承認を得る。

④　志願者は、全国募集志願許可書及び全国募集志願理由書（全国様式３）を出身中学校長等に提出する。

⑷　中学校長等が行う手続は、次の①、②のとおりとする。

①　中学校長等は、出願システム上で出願情報に誤りがないこと及び入学考査手数料が納付されていることを確認した後、出願情報等を承認し、志願先高等学校長に出願情報等を送信する。

②　中学校長等は、出願システム上で送信した出願情報等を志願先高等学校長が受け付けたことを確認した後、志願期間内に、志願先高等学校長に承認した志願者の調査書を書面で提出する。その際に、全国募集志願者名簿（全国様式４）を書面で２部作成し、上記⑵の④で提出された書類とともに提出する。

⑸　高等学校長が行う手続は、次の①、②のとおりとする。

①　高等学校長は、出願システム上で受信した出願情報等の内容が適正であると認めた際は、受付処理を行う。

②　高等学校長は、中学校長等から調査書等を書面で受領する。その際に、中学校長等から提出された全国募集志願者名簿２部のうち１部を押印のうえ、受領証として中学校長等に返却する。

⑹　中学校長等は、本県所定の学習成績等一覧表（Ｐ27の様式)、もしくは、これに代わる各都道府県所定のものを書面で２部作成し、１部を令和９年２月２日(火)正午までに、富山県教育委員会教育みらい室県立高校課長あてに、親展書留にて提出し、１部を志願期間内に、調査書とともに志願先高等学校長に提出する。

⑺ 志願者は、視力、聴力、肢体状況、疾病等と関わって、受検に際して特に配慮を必要とする場合、出願前に中学校長等に連絡する。中学校長等は、配慮を必要とする者の志願に当たり、出願１週間前までを目途に志願先高等学校長に連絡し、調査書とともに受検上の配慮申請書（様式９）を書面で提出する。

配慮内容は、志願先高等学校長が富山県教育委員会と協議のうえで決定する。

なお、希望する配慮事項が受検上の配慮申請書の「その他」に該当する場合、中学校長等は、志願者が志願先高等学校を決定する前に、富山県教育委員会に相談することができる。

⑻ 中学校等の第２学年、第３学年のいずれか又は両方で、年間の欠席日数が30日程度以上ある者で、自己申告書の提出を希望する者は、調査書とともに自己申告書（様式10）を、中学校長等を経て、志願先高等学校長に書面で提出することができる。

⑼ 海外から帰国し、全国募集による入学者選抜の志願資格を満たす者で、帰国生徒として志願する場合は、調査書とともに海外在住状況等説明書（様式11）を、志願先高等学校長に書面で提出する。

なお、ここでいう帰国生徒とは、海外における在住期間が継続して２年以上の者で、志願時において帰国後３年以内の者等をいう。

６　志願手続等一覧

志願許可申請から志願までの手続を下に示す。

	手　　続		申請書類等	記載者、提出先等
1	志願許可申請書等の準備 （志　　願　　者）		本県所定の全国募集志願許可申請書（全国様式１） 志願資格⑷の事項を証明する書類 （志願者及び保護者の住民票の写し等）	志願者が準備する。
2	全国募集志願の証明（１） （出身中学校長等）		全国募集志願許可申請書、住民票の写し等	出身中学校長等に提出し、証明を受ける。
3	全国募集志願の証明（２） （出身都道府県教育委員会教育長）		出身中学校長等の証明を受けた全国募集志願許可申請書 （志願者が提出した住民票の写し等を添付）	出身都道府県教育委員会に提出し、証明を受ける。
4	志願許可申請書の提出 （志　　願　　者）		出身都道府県教育委員会教育長の証明を受けた全国募集志願許可申請書（１部） （志願者が提出した住民票の写し等を添付） ※郵送を希望する場合、返信用封筒（切手貼付）も提出する。（書留等の扱いや、封筒の大きさは問わない。）	富山県教育委員会教育みらい室県立高校課に提出する。
5	全国募集志願許可申請書の審査 （富山県教育委員会）		富山県教育委員会が志願者の提出した全国募集志願許可申請書を審査し、本県所定の全国募集志願許可書（全国様式２）を交付する。	
6	出願情報の入力 （志　　願　　者）		志願者が出願システムに出願情報を入力し、入学考査手数料を納付する。	
7	志願書類の提出（１） （志　　願　　者）		本県所定の全国募集志願理由書（全国様式３） 富山県教育委員会が交付した全国募集志願許可書	志願者が出身中学校長等に提出する。
8	志願書類の提出（２） （出身中学校長等）		志願者の提出書類（全国募集志願理由書、全国募集志願許可書） 本県所定の調査書、全国募集志願者名簿（全国様式４、２部） 学習成績等一覧表（１部） ※郵送による志願の場合、受領証返信用封筒（親展書留、切手貼付）も添付する。	出身中学校長等が志願先高等学校長に提出する。
9	学習成績等一覧表の提出 （出身中学校長等）		学習成績等一覧表（１部）	富山県教育委員会教育みらい室県立高校課長に親展書留にて提出する。
10	志願の確認 （富山県教育委員会）		富山県教育委員会は、志願先高等学校長に志願を確認する。	

７　検査

⑴ 検査は、作文及び面接とする。ただし、高等学校長が特に必要と認めた場合は、富山県教育委員会の承認を得て、学力検査を行うことができる。

⑵ 検査は、令和９年２月９日(火)午前９時から、志願先高等学校において、当該高等学校長が定める日程によって行う。

⑶ 受検者の携行しなければならないものは、受検票、その他志願先高等学校長から指示されたものとする。

⑷ 各検査会場における検査の実施など、検査の管理は高等学校長がこれに当たる。

８　受検票の交付

⑴ 高等学校長は、出願システム上で志願者に受検票を交付する。交付の日時は、富山県教育委員会が定めるものとする。

⑵ 志願者は、出願システムから受検票を印刷する。

９　選抜の方法

⑴　高等学校長は、入学志願者について中学校長等から提出された資料（全国募集志願理由書も含む。）、面接等の結果に基づき、総合的に判定して合格者を決定する。

⑵　高等学校長は、入学者選抜のため、校長を委員長とする選抜委員会を設ける。

⑶　高等学校長は、選抜に当たって、調査書等に理解が困難な事項があった場合には、該当の中学校長等に説明を求めることができる。また、富山県教育委員会に照会することができる。

10　合格者の発表

⑴　令和９年２月15日(月)午後０時30分に、出願システム上で行う。

⑵　合格者は、他の公立高等学校を志願することができない。

⑶　合格とならなかった者は、令和９年度富山県立高等学校全日制の課程一般入学者選抜に志願することができない。

11　志願に際しての留意事項

⑴　志願者及び保護者は、志願先高等学校の学習環境や入学後の居住環境等について、事前に見学等を行い、十分に把握しておくこと。

⑵　各高等学校は、志願者及び保護者に対して、出願に係る諸手続のほか、合格発表後に、「富山県内に居住する身元引受人」を各高等学校に届け出ることなど、入学にあたって必要な事項についても十分に説明すること。

12　その他

⑴　高等学校長は、志願期間中、学科別の志願者数を毎日午後２時現在で発表掲示する。

⑵　中学校長等は、検査を欠席する志願者の氏名等を、欠席者連絡票（様式13）等により、志願先高等学校長に連絡する。

⑶　高等学校長は、検査時において、カンニングをすることや他の受検者の迷惑となる行為をすること、検査監督者の指示に従わないことなどの不正行為を行った者に対しては、入学を許可しないものとする。

⑷　ここに定めるもののほか、全国募集による入学者選抜に関し必要な事項及び特別な事態が生じた場合の措置は、富山県教育委員会教育長がこれを定める。

＜調査書の記入について＞（書面で作成）

⑴　本県所定の調査書（Ｐ27の様式）を用いること。

⑵　記入については、「入学志願者調査書及び学習成績等一覧表の記入上の注意」（Ｐ21～Ｐ23記載）によるが、特に、以下の点に注意すること。

ア　学習の記録欄

・評定は出身都道府県で定めている方法に従ってよい。ただし、相対評価の場合は、特記事項欄にその旨を記入し、さらに各都道府県で定めている各学年の評定段階の配分率等を記入する。配分率等が定められていない場合は、その旨を記入する。

イ　総合的な学習の時間欄

・観点の欄（「知識・技能」「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」）を斜線で消す。評価の欄は記入しなくてよい。学習活動等の欄に、出身都道府県で定められた記述の仕方に従い、学習活動、観点、生徒の学習状況の顕著な事項等を記載する。

ウ　特別活動欄・行動の記録欄

・評価の欄には、中学校生徒指導要録の３年次の評価を転記する。現在第３学年に在籍中の者については、第３学年第２学期までの評価とする。

エ　備考欄

・特記すべき事項があれば記述する。

＜学習成績等一覧表の記入について＞（書面で作成）

記入の詳細については、「入学志願者調査書及び学習成績等一覧表の記入上の注意」（Ｐ21～Ｐ23記載）を参照すること。

不明の点があれば、富山県教育委員会教育みらい室県立高校課に問い合わせること。

〒930-8501

富山市新総曲輪１番７号　　富山県教育委員会教育みらい室県立高校課高校教育担当（電話076-444-3450）

定時制の課程（単位制前期）入学者選抜

１　募集定員

募集は、新川みどり野高等学校、雄峰高等学校、志貴野高等学校、小矢部園芸高等学校及びとなみ野高等学校において行い、各高等学校の募集定員は別に示す。

２　志願資格

次の⑴～⑶のいずれかに該当する者であって、現在、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校高等部又は高等専門学校のいずれにも在籍していない者

⑴　中学校又はこれに準ずる学校を令和９年３月に卒業する見込みの者

⑵　中学校又はこれに準ずる学校を卒業した者

⑶　中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

３　第１次選抜

⑴　志願期間

令和９年２月24日(水)から同月26日(金)までの間、毎日午前９時から午後４時までとする。ただし、２月26日(金)は正午までとする。

なお、郵送により調査書等を提出する場合は書留速達とし、２月25日(木)正午までの消印のあるものに限り受け付ける。また、別途、出願書類郵送連絡票（様式23）により、その旨を志願先高等学校長に連絡する。

⑵　志願の方法

ア　志願は、１校１学科に限る（普通科及び志貴野高等学校の総合ビジネス科については、「昼間単位制Ⅰ部」、「昼間単位制Ⅱ部」、「夜間単位制」をそれぞれ単独の学科とする。）。

イ　他の都道府県の公立高等学校に出願している者又は出願予定のある者は、出願することができない。ただし、特別な事情がある者は、志願期間前に富山県教育委員会の承認を得て、出願することができる。

ウ　全日制の課程と重ねて志願することはできない。

エ　志願者が行う手続は、次の①～③のとおりとする。

①　志願者は、出願システムに出願情報を入力する。

②　志願者は､950円の入学考査手数料をクレジットカードによるオンライン決済､コンビニエンスストア支払、ペイジー支払のいずれかで納付する。ただし、納入された入学考査手数料の返還は行わない。

③　①、②の後、出願システム上で中学校長等の承認を得る。

オ　中学校長等が行う手続は、次の①、②のとおりとする。

①　中学校長等は、出願システム上で出願情報に誤りがないこと及び入学考査手数料が納付されていることを確認した後、出願情報等を承認し、志願先高等学校長に出願情報等を送信する。

②　中学校長等は､出願システム上で送信した出願情報等を志願先高等学校長が受け付けたことを確認した後、志願期間内に、志願先高等学校長に承認した志願者の調査書を書面で提出する。その際に、定時制の課程入学志願者名簿（様式５）を書面で２部作成し、調査書とともに提出する。

カ　高等学校長が行う手続は、次の①、②のとおりとする。

①　高等学校長は､出願システム上で受信した出願情報等の内容が適正であると認めた際は､受付処理を行う。

②　高等学校長は、中学校長等から調査書を書面で受領する。その際に、中学校長等から提出された定時制の課程入学志願者名簿２部のうち１部を押印のうえ、受領証として中学校長等に返却する。

なお、高等学校長は、選抜の資料として、上記以外の書類を必要とするときは、富山県教育委員会の承認を得て、志願者及び中学校長等にその書類の提出を求めることができる。

キ　志願者は、視力、聴力、肢体状況、疾病等と関わって、受検に際して特に配慮を必要とする場合、出願前に中学校長等に連絡する。中学校長等は、配慮を必要とする者の志願に当たり、出願１週間前までを目途に志願先高等学校長に連絡し、調査書とともに受検上の配慮申請書（様式９）を書面で提出する。

配慮内容は、志願先高等学校長が富山県教育委員会と協議のうえで決定する。

なお、希望する配慮事項が受検上の配慮申請書の「その他」に該当する場合、中学校長等は、志願者が志願先高等学校を決定する前に、各教育事務所を通じて富山県教育委員会に相談することができる。

ク　中学校等の第２学年、第３学年のいずれか又は両方で、年間の欠席日数が30日程度以上ある者で、自己申告書の提出を希望する者は、調査書とともに自己申告書（様式10）を、中学校長等を経て、志願先高等学校長に書面で提出することができる。

ケ　外国人特別措置の適用を希望する外国籍を有する者は､調査書とともに外国人特別措置適用申請書（様式12）を、出身中学校長等を通じて、志願先高等学校長に書面で提出することができる。

なお、外国人特別措置の適用対象者は、志願時において入国後６年以内の外国籍を有する者とする。

コ　県外及び海外からの志願者も上記ア～ケに基づいて志願する。ただし、調査書については、出身都道府県教育委員会の定める調査書をもって代えることができる。

⑶　受検票の交付

ア　高等学校長は、出願システム上で志願者に受検票を交付する。交付の日時は、富山県教育委員会が定めるものとする。

イ　志願者は、出願システムから受検票を印刷する。

⑷　検査

ア　検査は、作文及び面接とする。ただし、高等学校長が特に必要と認めた場合は、富山県教育委員会の承認を得て、学力検査を行うことができる。

イ　志願者は、志願した高等学校で検査を受けなければならない。

ウ　検査は、令和９年３月９日(火)に行う。国語と数学のどちらか１教科又は両教科について学力検査を実施する場合は、下に示す日程によって行う。国語と数学以外の教科のみについて学力検査を実施する場合は、志願先高等学校長が定める日程によって行う。

	9:30 ～ 10:00	10:20 ～ 10:50	学力検査後
３月９日(火)	国語又は各高等学校長が定める１教科	数学又は各高等学校長が定める１教科	作文、面接

なお、作文や面接は、志願先高等学校長が定める日程によって行うが、志願先高等学校長の判断で、面接を令和９年３月10日(水)に行うことができる。

検査で国語と数学のどちらか１教科又は両教科について学力検査を実施する場合において、自然災害や公共交通機関の遅延、その他の特別な事情により、上記の日程で実施することが困難なときは、高等学校長は、富山県教育委員会と協議して検査の開始及び終了の時刻等を変更することができる。

エ　外国人特別措置は、学力検査問題の漢字にふりがなを付すこととする。ただし、設問の都合上、ふりがなを付さない場合がある。

オ　受検者の携行しなければならないものは、受検票、筆記用具、その他志願先高等学校長から指示されたものとする。

カ　各検査会場における検査の実施・採点など、検査の管理は高等学校長がこれに当たる。

⑸　選抜の方法

高等学校長は、入学志願者について中学校長等から提出された資料、検査成績等に基づき、総合的に判定して合格者を決定する。

⑹　合格者の発表

令和９年３月18日(木)午後０時30分に、出願システム上で行う。

４　第２次選抜

⑴　第２次選抜を行う学校、学科及び募集定員等

富山県教育委員会は、第１次選抜合格者の発表後、第２次選抜を行う学校、学科及び募集定員等を決定し、令和９年３月18日(木)に発表する。

⑵　志願期間

令和９年３月19日(金)及び同月23日(火)の両日とし、両日とも午前９時から午後４時までとする。

なお、郵送により調査書等を提出する場合は書留速達とし、３月23日(火)午後４時までに志願校に必着とする。また、別途、出願書類郵送連絡票（様式23）により、その旨を志願先高等学校長に連絡する。

⑶　志願の方法

ア　全日制の課程第２次選抜の志願資格（Ｐ６参照）を有する者は、同選抜と重ねて志願することができる。

イ　その他については、上記３の⑵ア、イ、エ、オ、カ、キ、ケ、コの定めに準じて行う。

⑷　検査

令和９年３月26日(金)に行う。国語と数学のどちらか１教科又は両教科について学力検査を実施する場合は、下に示す日程によって行う。国語と数学以外の教科のみについて学力検査を実施する場合は、志願先高等学校長が定める日程によって行う。

	9:30 ～ 10:00	10:20 ～ 10:50	学力検査後
３月26日(金)	国語又は各高等学校長が定める１教科	数学又は各高等学校長が定める１教科	作文、面接

なお、作文や面接は、志願先高等学校長が定める日程によって行う。

⑸　合格者の発表

令和９年３月29日(月)午後０時30分に、出願システム上で行う。

⑹　その他

上記３の⑶、⑷、⑸の定めに準じて行う。

５　その他

⑴　高等学校長は、志願期間中、学科別の志願者数を毎日午後４時現在で発表掲示する。

⑵　中学校長等は、検査を欠席する入学志願者の氏名等を、欠席者連絡票（様式13）等により、志願先高等学校長に連絡する。

⑶　第２次選抜後も必要があれば、再度選抜を実施することができる。その場合、単位制以外の第２次選抜に準じて行う。

⑷　各学校の実施概要については、「定時制の課程　学校別入学者選抜実施概要一覧」（Ｐ47記載）に示す。

⑸　高等学校長は、検査時において、カンニングをすることや他の受検者の迷惑となる行為をすること、検査監督者の指示に従わないことなどの不正行為を行った者に対しては、入学を許可しないものとする。

⑹　ここに定めるもののほか、定時制の課程（単位制前期）入学者選抜に関し必要な事項及び特別な事態が生じた場合の措置は、富山県教育委員会教育長がこれを定める。

定時制の課程（単位制以外）入学者選抜

１　募集定員

募集は、富山工業高等学校の定時制の課程において行い、募集定員は別に示す。

２　志願資格

次の⑴～⑶のいずれかに該当する者であって、現在、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校高等部又は高等専門学校のいずれにも在籍していない者

⑴　中学校又はこれに準ずる学校を令和９年３月に卒業する見込みの者

⑵　中学校又はこれに準ずる学校を卒業した者

⑶　中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

３　第１次選抜

⑴　志願期間

令和９年３月19日(金)及び同月23日(火)の両日とし、両日とも午前９時から午後４時までとする。

なお、郵送により調査書等を提出する場合は書留速達とし、３月23日(火)午後４時までに富山工業高等学校に必着とする。また、別途、出願書類郵送連絡票（様式23）により、その旨を富山工業高等学校長に連絡する。

⑵　志願の方法

ア　志願は、富山工業高等学校定時制の課程の１学科に限る。ただし、同校の定時制の課程内の他学科を第２順位まで志願することができる。

なお、第２順位を志願する場合は２つ以上にわたることができる。

イ　他の都道府県の公立高等学校に出願している者又は出願予定のある者は、出願することができない。ただし、特別な事情がある者は、志願期間前に富山県教育委員会の承認を得て、出願することができる。

ウ　全日制の課程第２次選抜の志願資格（Ｐ６参照）を有する者は、同選抜と重ねて志願することができる。

エ　志願者が行う手続は、次の①～③のとおりとする。

①　志願者は、出願システムに出願情報を入力する。

②　志願者は､950円の入学考査手数料をクレジットカードによるオンライン決済､コンビニエンスストア支払、ペイジー支払のいずれかで納付する。ただし、納入された入学考査手数料の返還は行わない。

③　①、②の後、出願システム上で中学校長等の承認を得る。

オ　中学校長等が行う手続は、次の①、②のとおりとする。

①　中学校長等は、出願システム上で出願情報に誤りがないこと及び入学考査手数料が納付されていることを確認した後、出願情報等を承認し、富山工業高等学校長に出願情報等を送信する。

②　中学校長等は、出願システム上で送信した出願情報等を富山工業高等学校長が受け付けたことを確認した後、志願期間内に、富山工業高等学校長に承認した志願者の調査書を書面で提出する。その際に、定時制の課程入学志願者名簿（様式５）を書面で２部作成し、調査書とともに提出する。

カ　富山工業高等学校長が行う手続は、次の①、②のとおりとする。

①　富山工業高等学校長は、出願システム上で受信した出願情報等の内容が適正であると認めた際は、受付処理を行う。

②　富山工業高等学校長は、中学校長等から調査書を書面で受領する。その際に、中学校長等から提出された定時制の課程入学志願者名簿２部のうち１部を押印のうえ、受領証として中学校長等に返却する。

なお、富山工業高等学校長は、選抜の資料として、上記以外の書類を必要とするときは、富山県教育委員会の承認を得て、志願者及び中学校長等にその書類の提出を求めることができる。

キ　志願者は、視力、聴力、肢体状況、疾病等と関わって、受検に際して特に配慮を必要とする場合、出願前に中学校長等に連絡する。中学校長等は、配慮を必要とする者の志願に当たり、出願１週間前までを目途に富山

工業高等学校長に連絡し、調査書とともに受検上の配慮申請書（様式９）を書面で提出する。
配慮内容は、富山工業高等学校長が富山県教育委員会と協議のうえで決定する。
なお、希望する配慮事項が受検上の配慮申請書の「その他」に該当する場合、中学校長等は、志願者が志願先高等学校を決定する前に、各教育事務所を通じて富山県教育委員会に相談することができる。

ク　外国人特別措置の適用を希望する外国籍を有する者は、調査書とともに外国人特別措置適用申請書（様式12）を、出身中学校長等を通じて、富山工業高等学校長に書面で提出することができる。
なお、外国人特別措置の適用対象者は、志願時において入国後６年以内の外国籍を有する者とする。

ケ　県外及び海外からの志願者も上記ア～クに基づいて志願する。ただし、調査書については、出身都道府県教育委員会の定める調査書をもって代えることができる。

⑶　受検票の交付

ア　富山工業高等学校長は、出願システム上で志願者に受検票を交付する。交付の日時は、富山県教育委員会が定めるものとする。

イ　志願者は、出願システムから受検票を印刷する。

⑷　検査

ア　検査は、作文及び面接とする。ただし、富山工業高等学校長が特に必要と認めた場合は、富山県教育委員会の承認を得て、学力検査を行うことができる。

イ　志願者は、富山工業高等学校で検査を受けなければならない。

ウ　検査は、令和９年３月26日(金)に行う。国語と数学のどちらか１教科又は両教科について学力検査を実施する場合は、下に示す日程によって行う。国語と数学以外の教科のみについて学力検査を実施する場合は、富山工業高等学校長が定める日程によって行う。

３月26日(金)	9:30 ～ 10:00	10:20 ～ 10:50	学力検査後
	国語又は富山工業高等学校長が定める１教科	数学又は富山工業高等学校長が定める１教科	作文、面接

なお、作文や面接は、富山工業高等学校長が定める日程によって行う。
検査で国語と数学のどちらか１教科又は両教科について学力検査を実施する場合において、自然災害や公共交通機関の遅延、その他の特別な事情により、上記の日程で実施することが困難なときは、富山工業高等学校長は、富山県教育委員会と協議して検査の開始及び終了の時刻等を変更することができる。

エ　外国人特別措置は、学力検査問題の漢字にふりがなを付すこととする。ただし、設問の都合上、ふりがなを付さない場合がある。

オ　受検者の携行しなければならないものは、受検票、筆記用具、その他富山工業高等学校長から指示されたものとする。

カ　各検査会場における検査の実施・採点など、検査の管理は富山工業高等学校長がこれに当たる。

⑸　選抜の方法

富山工業高等学校長は、入学志願者について中学校長等から提出された資料、検査成績等に基づき、総合的に判定して合格者を決定する。

⑹　合格者の発表

令和９年３月29日(月)午後０時30分に、出願システム上で行う。

４　第２次選抜

⑴　富山県教育委員会は、第１次選抜合格者の発表後、第２次選抜を行う学科及び募集定員等を決定し、３月29日(月)に、富山工業高等学校において発表する。

⑵　志願期間は、令和９年３月29日(月)及び同月30日(火)の両日とし、３月29日(月)は午後１時から午後４時まで、３月30日(火)は午前９時から午後４時までとする。
なお、郵送による調査書等の提出は不可とする。

⑶　検査については、富山工業高等学校長が日程を定め、志願者に通知する。

⑷　その他、上記３の⑵、⑶、⑷、⑸の定めに準じて行う。

⑸　合格者の発表については、富山工業高等学校長が定める。

５　その他

⑴　富山工業高等学校長は、志願期間中、学科別の志願者数を毎日午後４時現在で発表掲示する。

⑵　中学校長等は、検査を欠席する入学志願者の氏名等を、欠席者連絡票（様式13）等により、富山工業高等学校長に連絡する。

⑶　実施概要については、「定時制の課程　学校別入学者選抜実施概要一覧」（Ｐ47記載）に示す。

⑷　富山工業高等学校長は、検査時において、カンニングをすることや他の受検者の迷惑となる行為をすること、検査監督者の指示に従わないことなどの不正行為を行った者に対しては、入学を許可しないものとする。

⑸　ここに定めるもののほか、定時制の課程（単位制以外）入学者選抜に関し必要な事項及び特別な事態が生じた場合の措置は、富山県教育委員会教育長がこれを定める。

定時制の課程入学者選抜の概要

単位制前期（新川みどり野高等学校／雄峰高等学校／志貴野高等学校／小矢部園芸高等学校／となみ野高等学校）	単位制以外（　富山工業高等学校　）
【第１次選抜】 志願受付開始　２月24日(水)　午前９時から ※全日制の課程と重ねて志願できない 志願締切　２月26日(金)　正午まで 検査実施　３月９日(火) ３月10日(水)〈面接予備日〉 合格者の発表　３月18日(木)　午後０時30分	
【第２次選抜】 募集定員等の発表　３月18日(木) 志願受付開始　３月19日(金)　午前９時から ※全日制の課程第２次選抜と重ねて志願できる 志願締切　３月23日(火)　午後４時まで 検査実施　３月26日(金) 合格者の発表　３月29日(月)　午後０時30分	**【第１次選抜】** 志願受付開始　３月19日(金)　午前９時から ※全日制の課程第２次選抜と重ねて志願できる 志願締切　３月23日(火)　午後４時まで 検査実施　３月26日(金) 合格者の発表　３月29日(月)　午後０時30分
	【第２次選抜】 募集定員等の発表〈富山工業高等学校において発表〉 志願受付開始　３月29日(月)　午後１時から 志願締切　３月30日(火)　午後４時まで 検査実施〈富山工業高等学校長が定め、志願者に通知する〉 合格者の発表〈富山工業高等学校長が通知する〉

定時制の課程（単位制後期）入学者選抜

１　募集人員

募集は、新川みどり野高等学校、雄峰高等学校、志貴野高等学校及びとなみ野高等学校において行い、各高等学校の募集人員は、令和９年５月以降に別途示す。

２　志願資格

次の⑴又は⑵に該当する者であって、現在、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校高等部又は高等専門学校（以下「高等学校等」という。）のいずれにも在籍していない者、及び過去に高等学校等で単位を修得していない者

⑴　中学校又はこれに準ずる学校を卒業した者

⑵　中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

３　志願期間

令和９年９月１日(水)から同月３日(金)までの間、毎日午前９時から午後４時までとする。ただし、９月３日(金)は正午までとする。

なお、郵送による出願の場合は書留速達とし、９月２日(木)正午までの消印のあるものに限り受け付ける。また、別途、電話等により、その旨を志願先高等学校長に連絡する。

４　志願の方法

⑴　志願は、１校１学科に限る（普通科及び志貴野高等学校の総合ビジネス科については、「昼間単位制Ⅰ部」、「昼間単位制Ⅱ部」、「夜間単位制」をそれぞれ単独の学科とする。）。

⑵　他の都道府県の公立高等学校に出願している者又は出願予定のある者は、出願することができない。ただし、特別な事情がある者は、志願期間前に富山県教育委員会の承認を得て、出願することができる。

⑶　志願者は、入学考査手数料として、手数料収納窓口で950円を納付し、発行される申請用のレシートを所定の入学願書（様式６）に貼り、志願先高等学校長に提出する。また、志願者は、出身の中学校長等に、調査書発行申請書（様式８）を提出する。中学校長等は、志願者からの申請を受けて、９月３日(金)正午までに、本人の調査書を志願先高等学校長に提出する。

出願及び調査書の提出について、郵送による場合は書留速達とする。また、別途、中学校長等は出願書類郵送連絡票（様式23）により、志願者は電話等により、その旨を志願先高等学校長に連絡する。

なお、高等学校長は、選抜の資料として、上記以外の書類を必要とするときは、富山県教育委員会の承認を得て、志願者及び中学校長等にその書類の提出を求めることができる。

⑷　中学校等の第２学年、第３学年のいずれか又は両方で、年間の欠席日数が30日程度以上ある者で、自己申告書の提出を希望する者は、入学願書に自己申告書（様式10）を添えて、志願先高等学校長に提出することができる。

⑸　県外及び海外からの志願者も上記⑴～⑷に基づいて志願する。ただし、調査書については、出身都道府県教育委員会の定める調査書をもって代えることができる。

５　検査

⑴　検査は、作文及び面接とする。ただし、高等学校長が特に必要と認めた場合は、富山県教育委員会の承認を得て、学力検査を行うことができる。

⑵　志願者は、志願した高等学校で検査を受けなければならない。

⑶　検査は、令和９年９月10日(金)に行う。国語と数学のどちらか１教科又は両教科について学力検査を実施する場合は、下に示す日程によって行う。ただし、自然災害や公共交通機関の遅延、その他の特別な事情により、この日程で実施することが困難な場合は、高等学校長は、富山県教育委員会と協議して検査の開始及び終了の時刻等を変更することができる。国語と数学以外の教科のみについて学力検査を実施する場合は、志願先高等学校長が定める日程によって行う。

９月10日(金)	9:30 ～ 10:00	10:20 ～ 10:50	学力検査後
	国語又は各高等学校長が定める１教科	数学又は各高等学校長が定める１教科	作文、面接

なお、作文や面接は、志願先高等学校長の定める日程によって行う。

⑷　受検者の携行しなければならないものは、筆記用具、その他志願先高等学校長から指示されたものとする。

⑸　各検査会場における検査の実施・採点など、検査の管理は高等学校長がこれに当たる。

６　選抜の方法

高等学校長は、入学志願者について中学校長等から提出された資料、検査成績等に基づき、総合的に判定して合格者を決定する。

７　合格者の発表

令和９年９月14日(火)午後０時30分に、各志願先高等学校において受検番号で行う。

８　その他

⑴　高等学校長は、志願期間中、学科別の志願者数を毎日午後４時現在で発表掲示する。

⑵　各学校の実施概要については、募集人員とともに、令和９年５月以降に別途示す。

⑶　高等学校長は、検査時において、カンニングをすることや他の受検者の迷惑となる行為をすること、検査監督者の指示に従わないことなどの不正行為を行った者に対しては、入学を許可しないものとする。

⑷　ここに定めるもののほか、定時制の課程（単位制後期）入学者選抜に関し必要な事項及び特別な事態が生じた場合の措置は、富山県教育委員会教育長がこれを定める。

通信制の課程入学者選抜

１　募集定員

募集定員は別に示す。

２　志願資格

次の⑴～⑶のいずれかに該当する者であって、現在、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校高等部又は高等専門学校のいずれにも在籍していない者

⑴　中学校又はこれに準ずる学校を令和９年３月に卒業する見込みの者

⑵　中学校又はこれに準ずる学校を卒業した者

⑶　中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

３　志願期間

令和９年３月19日(金)及び同月23日(火)の両日とし、両日とも午前９時から午後４時までとする。

なお、郵送による出願の場合は書留速達とし、３月23日(火)午後４時までに雄峰高等学校に必着とする。

４　志願の方法

⑴　他の都道府県の公立高等学校に出願している者又は出願予定のある者は、出願することができない。ただし、特別な事情がある者は、志願期間前に富山県教育委員会の承認を得て、出願することができる。

⑵　志願者は、次の書類を雄峰高等学校長に提出する。

ア　入学願書（様式７）

（入学考査手数料として、手数料収納窓口で460円を納付し、発行される申請用のレシートを貼る。）

イ　調査書

（ただし、令和３年３月以前の卒業者については、出身中学校等の卒業証明書をもって代えることができる。）

ウ　雄峰高等学校衛生看護科を志願する者は、富山市医師会看護専門学校准看護学科の合格証の写し

⑶　雄峰高等学校長は、選抜の資料として、上記以外の書類を必要とするときは、富山県教育委員会の承認を得て、志願者及び出身中学校長等にその提出を求めることができる。

５　検査

⑴　検査は、面接等とする。

⑵　検査は、令和９年３月26日(金)午前９時から、雄峰高等学校において行う。

６　選抜の方法

雄峰高等学校長は、入学志願者について中学校長等から提出された資料、面接等の結果に基づき、総合的に判定して合格者を決定する。

７　合格者の発表

令和９年３月29日(月)午後０時30分に、雄峰高等学校において受検番号で行う。

８　第２次募集

⑴　上記１、２、４、６の定めに準じて行う。

⑵　志願期間は、令和９年３月29日(月)及び同月30日(火)の両日とし、３月29日(月)は午後１時から午後４時まで、３月30日(火)は午前９時から午後４時までとする。郵送による出願は不可とする。

なお、事情によっては、締切期日後でも受け付けることがある。

⑶　面接等の実施は、雄峰高等学校長が定める日時及び場所において行う。

９　その他

高等学校長は、検査時において、カンニングをすることや他の受検者の迷惑となる行為をすること、検査監督者の指示に従わないことなどの不正行為を行った者に対しては、入学を許可しないものとする。

富山県立中央農業高等学校農業特別専攻科入学者選抜

１　募集定員

募集定員は別に示す。

２　志願資格

＜担い手育成コース＞

高等学校又はこれに準ずる学校を卒業した者又は令和９年３月に卒業する見込みの者で、次の各条件を備えた者

⑴　本校入学時に、現に農業に従事し、農業経営を発展させようとする意欲、農業に関する知識・技術の向上を目指す意欲のある者

⑵　出身高等学校長等の推薦を受けた者又は地域農林振興センター所長の推薦を受けた者。ただし法人等で就農を目的とした研修を行う者については地域農林振興センター所長の推薦を受けた者

＜庭園コース＞

高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、庭園管理や野菜・草花の栽培等に興味・関心の高い者

３　志願期間

令和８年11月30日(月)から同年12月11日(金)までの間(日曜日及び土曜日を除く。)、毎日午前９時から午後４時までとする。ただし、12月11日(金)は正午までとする。

なお、郵送による出願の場合は書留速達とし、12月11日(金)正午までに中央農業高等学校に必着とする。

４　志願の方法

入学志願者は、次の書類を中央農業高等学校長に提出する。

＜担い手育成コース＞

⑴　入学願書（学校所定のもの）

（入学考査手数料として、手数料収納窓口で2,200円を納付し、発行される申請用のレシートを貼る。）

⑵　履歴書（学校所定のもの）

⑶　卒業見込み証明書又は卒業証明書

⑷　営農状況調査書（学校所定のもの）

⑸　出身高等学校長等又は地域農林振興センター所長の推薦書（学校所定のもの）

＜庭園コース＞

⑴　入学願書（学校所定のもの）

（入学考査手数料として、手数料収納窓口で2,200円を納付し、発行される申請用のレシートを貼る。）

⑵　履歴書（学校所定のもの）

５　選抜の方法

＜担い手育成コース＞

中央農業高等学校長は、入学志願者について出身高等学校長等から提出された資料及び面接、作文等の結果に基づき、総合的に判定して合格者を決定する。

なお、面接、作文は、中央農業高等学校長が定める日時及び場所において行う。

また、特に必要と認めた場合は、学力検査（農業に関する科目の範囲）を行うことがある。

＜庭園コース＞

中央農業高等学校長は、入学志願者から提出された資料及び面接、作文、実技（簡易作図）の結果に基づき、総合的に判定して合格者を決定する。

なお、面接、作文及び実技は、中央農業高等学校長が定める日時及び場所において行う。

６　合格者の発表

令和９年１月14日(木)午後０時30分に、中央農業高等学校において受検番号で行う。

７　第２次募集

⑴　第１次募集における合格者が定員に満たない場合にのみ、上記１、２、４、５の定めに準じて第２次募集を実施する。

⑵　第２次募集を実施する場合、志願期間は、令和９年２月18日(木)から同月26日(金)までの間(日曜日、土曜日及び祝日を除く。)、毎日午前９時から午後４時までとする。ただし、２月26日(金)は正午までとする。

なお、郵送による出願の場合は書留速達とし、２月26日(金)正午までに中央農業高等学校に必着とする。

富山県立富山いずみ高等学校専攻科入学者選抜

１　募集定員

募集定員は別に示す。

２　志願資格

富山いずみ高等学校看護科を卒業した者

３　その他

入学者募集の詳細については、富山いずみ高等学校長が別に定める。

富山県立雄峰高等学校専攻科入学者選抜

１　募集定員

募集定員は別に示す。

２　志願資格

⑴　高等学校又はこれに準ずる学校を卒業した者又は令和９年３月に卒業する見込みの者

⑵　高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

３　志願期間

令和８年11月24日(火)から同月27日(金)までの間、毎日午前９時から午後４時までとする。

なお、郵送による出願の場合は書留速達とし、11月27日(金)午後４時までに雄峰高等学校に必着とする。

４　志願の方法

⑴　入学志願者は、次の書類を雄峰高等学校長に提出する。

ア　雄峰高等学校において交付する入学願書

（入学考査手数料として、手数料収納窓口で2,200円を納付し、発行される申請用のレシートを貼る。）

イ　学業成績証明書（高等学校等調査書又は成績証明書）

ウ　上記イで成績証明書を提出した者のみ卒業証明書

⑵　午前部・午後部については、第２順位まで志願することができる。

５　選抜の方法

雄峰高等学校長は、入学志願者について出身高等学校長等から提出された資料及び面接等の結果に基づき、総合的に判定して合格者を決定する。

なお、面接は、雄峰高等学校長が定める日時及び場所において行う。

また、雄峰高等学校長は、特に必要と認めた場合は、作文を行うことができる。

６　合格者の発表

令和８年12月18日(金)午後０時30分に、雄峰高等学校において受検番号で行う。

７　第２次募集

⑴　第１次募集における合格者が定員に満たない場合にのみ、上記１、２、４、５の定めに準じて第２次募集を実施する。

⑵　第２次募集を実施する場合の志願期間は、令和９年２月24日(水)及び同月25日(木)の両日とし、両日とも午前９時から午後４時までとする。

富山県立小矢部園芸高等学校専攻科入学者選抜

１　募集定員

募集定員は別に示す。

２　志願資格

⑴　高等学校又はこれに準ずる学校を卒業した者又は令和９年３月に卒業する見込みの者

⑵　高等学校を卒業した者と同等以上の学力を持ち、園芸・造園に関する高度な知識、技術の習得及び向上を希望する者

３　志願期間

令和９年２月８日(月)から同月12日(金)までの間（祝日を除く。）、毎日午前９時から午後４時までとする。

なお、郵送による出願の場合は書留速達とし、２月11日(木)までの消印のあるものに限り受け付ける。

４　志願の方法

入学志願者は、次の書類を小矢部園芸高等学校長に提出する。

⑴　入学願書（学校所定のもの）

（入学考査手数料として、手数料収納窓口で2,200円を納付し、発行される申請用のレシートを貼る。）

⑵　履歴書（学校所定のもの）

⑶　高等学校等卒業見込み証明書又は卒業証明書等

５　選抜の方法

小矢部園芸高等学校長は、入学志願者から提出された資料及び作文、面接等の結果に基づき、総合的に判定して合格者を決定する。

なお、作文、面接は、小矢部園芸高等学校長が定める日時及び場所において行う。

また、小矢部園芸高等学校長は、特に必要と認めた場合は、学力検査（農業に関する科目の範囲）を行うことができる。

６　合格者の発表

令和９年３月18日(木)午後０時30分に、小矢部園芸高等学校において受検番号で行う。

入学志願者調査書及び学習成績等一覧表の記入上の注意

1　調査書作成上の注意

⑴　調査書は、選抜資料作成委員会の議を経て、厳正公平に作成する。

⑵　選抜資料作成委員会には、教務主任、進路指導主事、第３学年主任を含むものとする。

⑶　調査書は、生徒指導要録、学習成績等一覧表並びに最近の資料等に基づいて作成する。

⑷　調査書等の作成に当たっては、原則として次のような手順をとるものとする。

学習成績等一覧表

選抜資料作成委員会 → 校長 → 富山県教育委員会 →（済印）→ 校長

調　　査　　書

選抜資料作成委員会基本方針 → 学級担任 → 進路指導主事・教務主任 → 教頭 → 校長
↑ ↑ ↑ ↑
学習成績等一覧表照合　　学習成績等一覧表照合

2　調査書記入上の注意（※欄は記入しない。）

⑴　学籍

・分校在籍者は分校名を記入する。

・卒業の欄の「卒業見込・卒業」については該当するものを○で囲む。

・願書の提出が中学校の卒業式後であっても、令和９年３月の卒業者はすべて卒業見込みとする。（ただし、定時制の課程単位制後期入学者選抜は除く。）

⑵　欠席

・現在、在学中の３年の欠席日数は令和９年１月27日(水)現在で記入する。

・欠席日数のないときは０と記入する。

・各学年において欠席日数が総計10日以上の者については、その主な理由を必ず記入する。

⑶　総合的な学習の時間

・「知識・技能」「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」で評価し、学習状況における顕著な事柄を生徒全員について文章で記述することとし、詳細は次のとおりとする。

ア　評価

・評価の欄には､各観点について各学校で定めた目標を十分満足できると判断されるものについて、○印を記載する。記載に当たっては、第３学年の評価を中心に総合的に記載するものとする。

イ　学習活動等

・学習活動等の欄には、学習状況における顕著な事柄について、その特徴など、生徒にどのような力が身に付いたかを、生徒全員について文章で記述し、各末尾に該当学年を(3)、(2、3)のように書き添える。

⑷　特別活動

ア　評価

・学級活動、生徒会活動及び学校行事の３つについて記入する。

・評価の観点は、別表１（Ｐ24記載）のとおりとする。

・評価の欄には、各内容ごとにその趣旨を十分満足できる状況にあると判断されるものについて、○印を記載する。記載に当たっては、第３学年の評価を中心に総合的に記載するものとする。

・県外及び海外からの志願者については、評価の欄には中学校生徒指導要録の３年次の評価を転記する。なお、現在第３学年に在籍中の者については、第３学年第２学期までの評価とする。

イ　特記事項

・学級活動、生徒会活動及び学校行事について、所属、役員又は顕著な活動など、３年間の主なものを記入し、各末尾に該当学年を(1)、(1、2)のように書き添える。

⑸　部活動等

・部活動については、その所属、役員又は顕著な活動や実績など、３年間の主なものを記入し、各末尾に該当学年を(1)、(1、2)のように書き添える。

・部活動以外の各種コンクール、校外活動やボランティア活動など顕著なものを記入する。

⑹　行動の記録

・評価する項目及びその趣旨は、別表２（Ｐ24記載）のとおりとする。

・評価の欄には、各項目ごとにその趣旨を十分満足できる状況にあると判断されるものについて、○印を記載する。記載に当たっては、第３学年の評価を中心に総合的に記載するものとする。

・所見の欄には、行動の状況等について、その特質を明らかにすると思われる具体的事実等を生徒全員について簡明に記述する。

・県外及び海外からの志願者については、評価の欄には中学校生徒指導要録の３年次の評価を転記する。なお、現在第３学年に在籍中の者については、第３学年第２学期までの評価とする。

⑺　趣味・特技

・顕著なものがあれば記入する。

・取得した資格（英語検定や漢字検定等）も記入する。

・上記２点について、なければ「特記事項なし」と記入する。

⑻　学習の記録

ア　各教科観点別学習状況の評価

・必修教科について、中学校生徒指導要録の記載に従い、第３学年１、２学期末評価を総括して、Ａ、Ｂ、Ｃの３段階で記載する。観点ごとに、別表３（Ｐ25・Ｐ26記載）の趣旨を十分踏まえて、各学校で実現の状況を、Ａ（十分満足できると判断されるもの)、Ｂ（おおむね満足できると判断されるもの)、Ｃ（努力を要すると判断されるもの）の３段階で評価する。

イ　各教科（必修教科）の評定

・２年次、３年次とも中学校生徒指導要録の評定に従い、５、４、３、２、１の５段階で記載する。

・現在、第３学年在籍中の者の３年次の評定は、第３学年第２学期末における本人の学力を生徒指導要録の記載法に従い記入する。

ウ　選択教科名

・選択教科については、第２学年及び第３学年における履修教科名のみを記入し、観点別学習状況の評価及び評定は記入しない。なお、選択教科を開設していない場合は、該当学年の教科名欄に斜線を引く。

エ　特記事項

・必修教科について顕著なものがあれば、具体的な状況を記述する。

・選択教科について顕著なものがあれば、その教科名、評価の観点とともに、具体的な状況を記述する。

・専門に関する学科を志願する者については、その学科に関連する適性等に顕著なものがあれば記述する。

・上記３点について顕著なものがなければ、「特記事項なし」と記入する。

⑼　備考

ア　進路関係

・職業に関する学科のうち、将来の進路に関する本人及び保護者の希望など、特記すべきことがあれば記述する。

イ　２年次から開設される普通科のコース関係

・一般入学者選抜において、２年次から開設される普通科の人文科学（高岡南)、英語（福岡)、国際（富山南)、自然科学、観光ビジネス（入善)、情報（大門)、福祉（八尾)、の各コースを希望する生徒については、「○○コース希望」と明記する。

ウ　学籍関係

・県外からの転入者については、転入年月と前在籍校（例＝令８．５　石川県○○中から転入）を記

入する。

・海外からの編入者については、編入年月と滞在していた国名、学校名、滞在期間等を記入する。

・県外及び海外からの志願者については、特記すべきことがあれば記述する。

・過年度卒業者については、卒業後の進学先・就職先等について記述する。

エ　その他

・上記のどの欄にも記載されなかった事項について、必要なものがあれば記述する。

※　上記ア～エのいずれにも記載事項がないときは、「特記事項なし」と記入する。

⑽　学校所在地

・県内志願者は記入しなくてもよい。

⑾　過年度卒業者について

・過年度卒業者については、生徒指導要録の記載に従って記入する。なお、学校教育法施行規則に定める生徒指導要録の学習の記録の保存年限が過ぎている者についての記載欄には、斜線を引く。

3　学習成績等一覧表の記入上の注意

⑴　令和６年４月に中学校へ入学した生徒のうち、第２、３学年次における在籍生徒全員（特別支援学級在籍者を含む。）について記載する。なお、過年度卒業者は⑹の指示に従って記載する。

⑵　記入責任者は教務主任とする。

⑶　分校は、本校とは別に作成し提出する。

⑷　在籍人数の欄には、特別支援学級在籍者を含めた中学校第２、３学年次の在籍人数を記載する。評定人数の欄には、特別支援学級在籍者を含めた中学校第２、３学年次の評定人数（長期欠席者等卒業する見込みのない者は除く。）を記入する。転入・転出人数の欄には、中学校第２学年次の評定を行った後に、転入、転出した者の人数を記載する。

⑸　第３学年次の転入者のうち、時期的に学習成績等一覧表の記載が困難な場合は、富山県教育委員会教育みらい室県立高校課に連絡して指示を受ける。

⑹　過年度卒業者の志願者人数の欄には、富山県立高等学校の全日制、定時制の学校を志願する過年度卒業者の人数を記入する。

⑺　「学習の記録」「行動の記録」「特別活動」及び「総合的な学習の時間」の記入は、「２　調査書記入上の注意」の該当事項の指示に従って行う。

⑻　県内中学校は、学校所在地を記入しなくてもよい。

別表１

中学校特別活動の評価の観点

内　　容	評　　価　　の　　観　　点
学級活動	１　学級の一員としての役割を自覚し、話合いや係の仕事などを進んで行おうとしたか。 ２　よりよい生活を目指し、学業生活や健康安全などの問題点を明確にとらえ、解決に努めようとしたか。 ３　現在及び将来の生き方を幅広く考え、積極的に自己を生かそうとしたか。
生徒会活動	１　生徒会に関心をもち、進んで参加しようとしたか。 ２　委員会の仕事などを積極的に行おうとしたか。 ３　全校的な視野に立って、学校生活や他のためを考え、自己の役割を果たそうとしたか。
学校行事	１　行事の意義を理解し、進んで参加しようとしたか。 ２　全校や学年の一員としての自覚をもち､集団や社会における自己の役割を果たそうとしたか。 ３　優れた校風を育て、よりよい人間関係の形成に努めようとしたか。

別表２

行動の記録の各項目別趣旨

項　　目	趣　　旨
基本的な生活習慣	自他の安全に努め、礼儀正しく節度を守り節制に心掛け調和のある生活をする。
健康・体力の向上	活力ある生活を送るための心身の健康の保持増進と体力の向上に努めている。
自主・自律	自分で考え、的確に判断し、自制心をもって自律的に行動するとともに、より高い目標の実現に向けて計画を立て根気強く努力する。
責任感	自分の役割を自覚して誠実にやり抜き、その結果に責任を負う。
創意工夫	探究的な態度をもち、進んで新しい考えや方法を見付け、自らの個性を生かした生活を工夫する。
思いやり・協力	だれに対しても思いやりと感謝の心をもち、自他を尊重し広い心で共に協力し、よりよく生きていこうとする。
生命尊重・自然愛護	自他の生命を尊重し、進んで自然を愛護する。
勤労・奉仕	勤労の尊さや意義を理解して望ましい職業観をもち、進んで仕事や奉仕活動をする。
公正・公平	正と不正を見極め、誘惑に負けることなく公正な態度がとれ、差別や偏見をもつことなく公平に行動する。
公共心・公徳心	規則を尊重し、公徳を大切にするとともに、我が国の伝統と文化を大切にし、国際的視野に立って公共のために役に立つことを進んで行う。

別表３

各教科等の評価の観点と趣旨

教科	観点		趣旨
国語	ア	知識・技能	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
	イ	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
	ウ	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。
社会	ア	知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。
	イ	思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。
	ウ	主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。
数学	ア	知識・技能	・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
	イ	思考・判断・表現	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。
	ウ	主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。
理科	ア	知識・技能	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。
	イ	思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
	ウ	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
音楽	ア	知識・技能	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
	イ	思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだし、音楽を味わって聴いたりしている。
	ウ	主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

教科	観点		趣旨
美術	ア	知識・技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。
	イ	思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
	ウ	主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。
保健体育	ア	知識・技能	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。
	イ	思考・判断・表現	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。
	ウ	主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
技術・家庭	ア	知識・技能	生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。
	イ	思考・判断・表現	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	ウ	主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
外国語	ア	知識・技能	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。
	イ	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。
	ウ	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
総合的な学習の時間	ア	知識・技能	探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識や技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解している。
	イ	思考・判断・表現	実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。
	ウ	主体的に学習に取り組む態度	探究的な学習に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとしている。

調　査　書

※　　※

学籍				性別
	ふりがな 氏名		生年月日 平成　年　月　日	
	現住所			
	卒業	令和　年　月	卒業見込・卒業	

欠席	学年	1年	2年	3年
	日数			
	主な理由			

総合的な学習の時間	観点	評価	学習活動等
	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		

特別活動	活動内容	評価	特記事項
	学級活動		
	生徒会活動		
	学校行事		

部活動等

行動の記録	項目	評価	項目	評価	所見
	基本的な生活習慣		思いやり・協力		
	健康・体力の向上		生命尊重・自然愛護		
	自主・自律		勤労・奉仕		
	責任感		公正・公平		
	創意工夫		公共心・公徳心		

趣味・特技		備考	

本書の記載事項に誤りのないことを証明する。
令和　年　月　日

学校所在地
中学校名
校長氏名　　印

記載者氏名　　㊞

学習の記録			
教科	2年評定	3年評定	観点別評価
国語			ア イ ウ
社会			ア イ ウ
数学			ア イ ウ
理科			ア イ ウ
音楽			ア イ ウ
美術			ア イ ウ
保健体育			ア イ ウ
技術・家庭			ア イ ウ
外国語			ア イ ウ

選択教科	学年・教科名
2年	
3年	

特記事項

学習成績等一覧表

1　各教科の学習の記録

学年	教科 / 評定	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語
第2学年	5の人数									
	4の人数									
	3の人数									
	2の人数									
	1の人数									
	計									
第3学年	5の人数									
	4の人数									
	3の人数									
	2の人数									
	1の人数									
	計									

2　観点別学習状況の評価

観点		Aの人数
国語	ア	
	イ	
	ウ	
社会	ア	
	イ	
	ウ	
数学	ア	
	イ	
	ウ	
理科	ア	
	イ	
	ウ	
音楽	ア	
	イ	
	ウ	
美術	ア	
	イ	
	ウ	
保健体育	ア	
	イ	
	ウ	
技術・家庭	ア	
	イ	
	ウ	
外国語	ア	
	イ	
	ウ	

3　総合的な学習の時間の記録

観点	○の人数
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

4　特別活動の記録

評価 / 活動内容	学級活動	生徒会活動	学校行事
○の人数			

5　行動の記録

項目	○の人数	項目	○の人数
基本的な生活習慣		思いやり・協力	
健康・体力の向上		生命尊重・自然愛護	
自主・自律		勤労・奉仕	
責任感		公正・公平	
創意工夫		公共心・公徳心	

6　在籍人数等

学年 / 項目	評定人数	在籍人数
第2学年		
第3学年		

転入・転出人数	
転入	転出

過年度卒業者の志願者人数

令和　年　月　日
学校所在地
中学校名
校長氏名　　印

（様式１）　　（中学校で作成＝Ａ４判）

一　般　入　学　志　願　者　名　簿

中学校名	校長氏名　　印			
志　願　先 高等学校名				
志 願 者 数	名			
※受付番号	志願学科・コース	氏　　名	新旧別	備　　考

注・中学校で２部作成し、志願先高等学校長に提出する。
・**志願学科（志願第１順位）ごとにまとめて記入する。**なお、富山東、富山北部、呉羽の普通科のコースの志願者については、普通科の先にまとめて記入する。
・新旧別の欄には、令和８年３月以前の卒業者のみを旧と略記する。
・自己申告書を提出する者については、備考欄に**「自己申告」と記入**する。
・海外在住状況等説明書の提出により、帰国生徒としての志願をする者については、備考欄に**「帰国生徒」と記入**する。
・外国人特別措置適用申請書を提出する者については、備考欄に**「外国人特別」と記入**する。
・※欄は記入しない。

（様式２）

※　No.＿＿＿＿＿＿

推　　薦　　書

令和　　年　　月　　日

富山県立　　高等学校長　殿

中 学 校 名

校 長 氏 名　　印

下記の者は、貴校への入学を希望しており、志願する学科（コース）の志願資格を満たしていると認められるので推薦します。

記

生　徒　氏　名				
生　年　月　日	平成　　年　　月　　日　生			
志　願	学　科	科		
	コース	コース		
所見	志願資格の⑴～⑶項に係る特記事項について			
	志願資格の⑷項に係る能力や実績等	該当項目	a	
			b	
			c	
			d	
備　　考				

注・普通科コースの志願者については、学科名及びコース名を記入する。また、これら以外を志願する者は、コース欄に斜線を引く。
・志願資格の⑴～⑶項に係る特記事項については、特記事項があれば記入する。なければ「なし」と記入する。
・「該当項目（ａｂｃｄ）」は、該当する記号を一つだけ○で囲む。
・備考は、特記事項があれば記入する。なければ「なし」と記入する。
・※欄は記入しない。

（様式３）　　（中学校で作成＝Ａ４判）

推　薦　入　学　志　願　者　名　簿

中学校名	校長氏名　　印		
志願先高等学校名			
志願者数	名		
※受付番号	志願学科・コース	氏　　名	備考

注・中学校で２部作成し、志願先高等学校長に提出する。
　・**志願学科・コースごとにまとめて記入する。**
　・※欄は記入しない。

（様式４）　　（高等学校で作成＝Ａ４判）

推　薦　入　学　選　考　結　果　通　知　書

令和　　年　　月　　日

中学校長　殿

高等学校名

校長氏名　　印

貴校から推薦のあった志願者について、下記のとおり決定したので通知します。

記

１　合格内定となった者

志願学科・コース	受検番号	氏　　名

２　合格内定とならなかった者

志願学科・コース	受検番号	氏　　名

（様式５）　　（中学校で作成＝Ａ４判）

定時制の課程入学志願者名簿

中学校名	校長氏名　　印			
志願先高等学校名				
志願者数	名			
※受付番号	志願学科・授業開設形態	氏　名	新旧別	備　考

注・中学校で２部作成し、志願先高等学校長に提出する。
・**志願学科（志願第１順位）ごとにまとめて記入する**。
・新旧別の欄には、令和８年３月以前の卒業者のみを旧と略記する。
・自己申告書を提出する者については、備考欄に**「自己申告」と記入**する。
・外国人特別措置適用申請書を提出する者については、備考欄に**「外国人特別」と記入**する。
・単位制前期第２次選抜において、同第１次選抜と同一校を志願する生徒については、１次での志願学科及び授業開設形態を「備考」欄に記入する。
・※欄は記入しない。

（様式６）

※ No.＿＿＿＿＿＿＿＿

入　学　願　書
（定時制の課程（単位制後期））

令和　　年　　月　　日

富山県立　　高等学校長　殿

中学校名

本人住所　　TEL（　　）

勤務先　　TEL（　　）

本人氏名（ふりがな）

平成　　年　　月　　日生

下記のとおり入学を志願いたします。

記

科	制　部

〒□□□－□□□□

保護者　住所

　　氏名

注・志願欄には志願する学科及び授業開設形態（例えば昼間単位制Ⅰ部、夜間制など）を記入する。「部」の欄は該当するものがない場合は、空欄とする。
・※欄は記入しない。

富山県立高等学校の入学考査手数料（定時制の課程）の徴収

C2025300200001101　¥950円（非課税）

申請用レシート貼付欄

富山県のホームページで納付方法を確認し、県内の手数料収納窓口で納付してください。
https://www.pref.toyama.jp/1800/kurashi/seikatsu/shoshi/20241212.html

定時制

（様式７）

※　No.＿＿＿＿＿＿＿＿

入　学　願　書
（通信制の課程）

令和　　年　　月　　日

富山県立雄峰高等学校長　殿

最終出身学校名

〒□□□－□□□□

本人住所　　TEL（　　）

勤務先　　TEL（　　）

本人氏名（ふりがな）

平成　　年　　月　　日生

下記のとおり入学を志願いたします。

記

学　科	普　通　・　衛生看護

〒□□□－□□□□

保護者　住所

　　氏名

注・学科については、該当するものを○で囲む。
　・※欄は記入しない。

申請用レシート貼付欄

富山県のホームページで納付方法を確認し、県内の手数料収納窓口で納付してください。
https://www.pref.toyama.jp/1800/kurashi/seikatsu/shoshi/20241212.html

富山県立高等学校の入学考査手数料（通信制の課程）の徴収

C2025300200001201　¥460円(非課税)

通信制

（様式８）

調　査　書　発　行　申　請　書

令和　　年　　月　　日

立　　学校長　殿

本人住所　　TEL（　　）

本人氏名（ふりがな）

旧姓（ふりがな）

平成　　年　　月　　日生

年　３月卒業

このたび、令和９年度富山県立高等学校定時制の課程単位制後期入学者選抜において、

富山県立　　高等学校　　科（昼間単位制Ⅰ部／昼間単位制Ⅱ部／夜間単位制）

に出願します。つきましては、調査書を作成のうえ、同高等学校に提出いただきたく申請します。

注・志願する学科の授業開設形態は、該当するものを○で囲む。
　・志願先高等学校の決定後速やかに出身中学校等に提出すること。
　・申請書提出後の志願先高等学校の変更は原則として認めない。
　　ただし、入学願書を高等学校に提出する前に、やむを得ない事情で志願先高等学校を変更する場合は、速やかに出身中学校等に連絡し、調査書発行申請書を再度提出すること。
　・この申請書を提出した後に志願を取りやめた場合は、速やかに出身中学校等に連絡をすること。

（様式９）　　（中学校で作成＝Ａ４判）

受検上の配慮申請書

令和　　年　　月　　日

富山県立　　高等学校長　殿

中学校名

校長氏名　　印

下記のとおり、富山県立高等学校入学者選抜において、受検上の配慮を申請します。

志願者氏名		性別	
志願学科・コース			
希望する配慮事項 （該当するものをチェックする。その他の場合、（　　）内に具体的内容を記入する。）	□ 別室受検　□ 座席の配慮　□ 拡大鏡の持参使用 □ 無地のハンカチ及びタオルの持参使用 □ 松葉杖及び車椅子の持参使用 □ その他 （　　）		
配慮を希望する理由 （障害等の状況）			
中学校における 日常の配慮事項			

注・中学校で２部作成し、調査書とともに志願先高等学校長へ提出する。
・中学校長等は、出願１週間前までを目途に志願先高等学校長に連絡する。
・配慮内容は、志願先高等学校長が富山県教育委員会と協議のうえで決定する。

以下は高等学校記入

富山県立高等学校入学者選抜における受検上の配慮について、下記のとおり対応します。

実施する配慮事項（該当欄をチェックする。その他の場合は内容を記入する。）

□ 希望のとおり　□ その他
（　　）

令和　　年　　月　　日　　高等学校名

校長氏名　　印

（様式10）　　（中学校で作成＝Ａ４判）

自　己　申　告　書

※
令和　　年　　月　　日

※
富山県立　　高等学校長　殿

※
中学校名

（ふりがな）※
本人氏名

保護者氏名

○提出可能な入学者選抜
・全日制の課程一般
・全国募集
・定時制の課程単位制前期第１次
・定時制の課程単位制後期

貴校への入学を志願するにあたり、下記のとおり申告します。

※（欠席の理由や事情）

※（高等学校で学びたいこと）

［記入上の注意］
・※欄は、本人がボールペンで自筆で必要事項を記入すること。
・保護者氏名欄は、保護者が記名すること。

（様式11）　　（中学校で作成＝Ａ４判）

海外在住状況等説明書

令和　　年　　月　　日

富山県立　　高等学校長　殿

（ふりがな）
本人氏名

保護者氏名

1　出国年月日　　年　　月　　日

2　帰国年月日　　年　　月　　日

3　海外在住期間　　年　　か月

4　出国前・海外在住中・帰国後の教育歴

学　校　名	学校所在地(国名・都市名等)	期　　間
		年　　月　～ 年　　月
備考		

上記のとおり相違ないことを証明する。

令和　　年　　月　　日

中学校名

校長氏名　　印

（様式12）　　（中学校で作成＝Ａ４判）

外国人特別措置適用申請書

令和　　年　　月　　日

富山県立　　高等学校長　殿

（ふりがな）
本人氏名

保護者氏名

下記の事項に基づき、富山県立高等学校入学者選抜において、外国人特別措置の適用を申請します。

記

1　入国年月日　　年　　月　　日

2　入国後の教育歴

学　校　名	学校所在地（都道府県名）	期　　間
		年　月～　　年　月

上記のとおり相違ないことを証明する。

令和　　年　　月　　日

中学校名

校長氏名　　印

（様式13）　　（中学校で作成＝Ａ４判）

取扱注意

欠席者連絡票

令和　　年　　月　　日

富山県立　　高等学校長　殿

中学校名

校長氏名　　印

以下の者より、令和　　年　　月　　日実施される検査を欠席する旨の申し出がありましたので、連絡します。

志願学科	受付番号	氏　名	欠席の理由						備　考
			①	②	③	④	⑤	⑥	

（注１）記入方法
欠席の理由の分類は、以下のとおりとし、該当する欄に○をつける。

①　県内外私立高等学校入学	②　県内外高等専門学校入学
③　家庭の事情	④　病気（含風邪）
⑤　県外転出	⑥　その他（備考欄に記入）

（注２）取扱上の留意点
・当該高等学校の求めに応じて、この票の手渡し、あるいは、電話等で連絡する。ファクシミリでの連絡は、不可とする。
・個人情報の保護には特に留意すること。
・第１日目の欠席連絡時に、第２日目の欠席も明らかである場合には、その旨を伝えること。この票による連絡の場合は、備考欄に両日欠席と記載すること。

（様式14）　　（中学校で作成＝Ａ４判）

富山県立高等学校入学志願特別事情申請書

令和　　年　　月　　日

富山県教育委員会教育長　殿

本人氏名（ふりがな）

保護者氏名

富山県立高等学校入学志願特別事情について（申請）

下記の事情により、富山県立高等学校に入学を志願したいので、関係書類を添えて申請します。「県外・海外志願許可書」を受領したうえで、「富山県立高等学校入学者選抜実施要領」にしたがって志願します。

記

本人現住所	
保護者現住所	〒□□□－□□□□　TEL（　　）
本県で居住予定の住所	
理　由（具体的に記述すること。）	

上記のとおり相違なく、本都道府県公立高等学校に志願しないことを証明する。

令和　　年　　月　　日

都道府県名及び学校名　　校長氏名　　印

上記のとおり相違ないことを証明する。

令和　　年　　月　　日

都道府県教育委員会名　　教育長氏名　　印

（様式15）

県外・海外志願許可書

（県外・海外）第　　号

中学校名

本人氏名（ふりがな）

保護者氏名

令和　　年　　月　　日付けで申請のあった富山県立高等学校への入学志願を許可します。なお、本書は、調査書とともに志願先高等学校長に提出してください。

令和　　年　　月　　日

富山県教育委員会

教育長　　印

注　富山県立高等学校入学者選抜実施要領にしたがって志願してください。

（様式16）　　（中学校で作成＝A4判）

追検査受検申請書

令和　　年　　月　　日

富山県立　　高等学校長　殿

中学校名

志願者氏名

保護者氏名

下記の理由により一般入学者選抜を欠席しましたので、追検査の受検を申請します。

志願学科・コース	
欠席した検査日 （該当欄をチェックする）	□　第1日及び第2日 □　第2日
理由	

注・2部作成し、中学校長から志願先高等学校長へ提出する。
・理由を証明する書類を添付すること。

上記のとおり相違ないことを証明する。

令和　　年　　月　　日　　中学校名

校長氏名　　印

以下は高等学校記入

追検査の受検について、下記のとおりとします。

承認する検査（該当欄をチェックする）

□　第1日及び第2日に実施した検査
□　第2日に実施した検査

令和　　年　　月　　日　　高等学校名

校長氏名　　印

（様式17）　　（中学校で作成＝Ａ４判）

第２次選抜志願先高等学校長へ提出する第２次選抜志願者名簿

※受付番号	志願学科	氏　　名	新旧別	第１次選抜志願先高等学校名とその学科

注　※欄は記入しない。

上記のとおり第２次選抜志願者名簿を提出します。

令和　　年　　月　　日

富山県立　　高等学校長　殿

中学校名

校長氏名　　印

（様式18）　　（中学校で作成＝Ａ４判）

第１次選抜志願先高等学校長へ提出する第２次選抜志願者名簿

氏　　名	第２次選抜志願先高等学校名とその学科	第１次選抜志願学科

上記のとおり第２次選抜志願者名簿を提出します。

令和　　年　　月　　日

富山県立　　高等学校長　殿

中学校名

校長氏名　　印

（様式19）

※　No.＿＿＿＿＿＿＿＿

第２次選抜申請書

（全日制の課程）

令和　　年　　月　　日

富山県立　　高等学校長　殿

中学校名

本人住所

本人氏名（ふりがな）

平成　　年　　月　　日生

下記のとおり申請いたします。

記

学科		第１次選抜志願先高等学校名とその学科	
第１順位	科	第１順位	高等学校 科
第２順位	科	第２順位	科

〒□□□－□□□□

住所
保護者
氏名

注・第２次選抜志願先高等学校長に提出する。
・第２順位の学科を志望しない者は、斜線を引く。
・※欄は記入しない。
・郵送による提出の場合は書留速達とし、その旨を第２次選抜志願先高等学校に電話連絡する。

（様式20）

第２次選抜志願について

（申　請）

令和　　年　　月　　日

中学校名

本人氏名（ふりがな）

保護者氏名

下記のとおり第２次選抜に志願したいので申請します。

記

本人現住所	〒□□□－□□□□
保護者現住所	〒□□□－□□□□
第２次選抜志願先高等学校名	高等学校　　科 （第１順位志願のみ）
第１次選抜志願先高等学校名	高等学校　　科 （第１順位志願のみ）

注・第１次選抜志願先高等学校長に提出する。
・郵送による提出の場合は書留速達とし、その旨を第２次選抜志願先高等学校に電話連絡する。

（様式21）　　（高等学校で作成＝Ａ５判）

学力検査成績証明書

令和　　年　　月　　日

富山県立　　高等学校長　殿

学校名

校長氏名　　印

下記の者は、令和９年度富山県立高等学校入学者選抜学力検査を受検し、その成績は次のとおりに相違ないことを証明する。

受検者氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

社会	国語	理科	英語	数学	計

（様式22）　　（高等学校で作成＝Ａ４判）

富山県立　　高等学校長　殿

第２次選抜志願者の調査書送付について

整理番号	氏名	第２次選抜志願先の学科	第１次選抜志願学科	備考

上記のとおり、第２次選抜志願者の調査書を送付します。

令和　　年　　月　　日

高等学校名

校長氏名　　印

（様式23）　　（中学校で作成＝Ａ４判）

出願書類郵送連絡票

令和　　年　　月　　日

富山県立　　高等学校長　殿

中学校名

校長氏名　　印

貴校への出願書類を下記のとおり、書留速達で郵送したので連絡いたします。

記

⑴　投函日時　　令和　　年　　月　　日　　時

⑵　受付郵便局　　＿＿＿＿＿＿郵便局

⑶　配達予定郵便局　　＿＿＿＿＿＿郵便局　（配達予定日　　月　　日）

⑷　郵送書類内訳

学　科	コース	人数	備　考
合　計			

担当者氏名（　　）　電話番号（　　）

（注１）ファクシミリでの連絡も可とする。その場合、必ず高等学校側の担当者に事前に電話で連絡し、ファクシミリの側に待機してもらい、送信終了後には受信を確認すること。

（注２）出願書類には、高等学校からの受領証（一般入学では、様式１「一般入学志願者名簿」２部提出のうちの１部。推薦入学では、様式３「推薦入学志願者名簿」２部提出のうちの１部。定時制の課程では、様式５「定時制の課程入学志願者名簿」２部提出のうちの１部。）の返信用封筒を同封すること。（返信用封筒には書留分の切手を貼っておくこと。）

（全国様式１）　　（中学校で作成＝Ａ４判）

全国募集志願許可申請書

令和　　年　　月　　日

富山県教育委員会教育長　殿

本人（ふりがな）氏名　　自署

保護者氏名　　自署

現住所　〒　　－

TEL　　－　　－

下記の理由等により、入学を志願したいので、関係書類を添えて申請します。「全国募集志願許可書」を受領したうえで、「富山県立高等学校入学者選抜実施要領」にしたがって志願します。

記

志願先高等学校及び学科

富山県立　　高等学校	科

志願理由

入学以降の志願者本人の居住地（□に**１つ**チェックを入れる）

□　生徒寮の閉寮日は**南砺市が用意した**下宿（開寮日は必ず生徒寮を利用）
　└ 南砺平高等学校の休業日の前日及び休業日　**※南砺平高等学校のみ対象**

□　**氷見市が用意した**下宿　**※氷見高等学校のみ対象**

□　富山県内に居住する親戚等（親以外）の住居（南砺平高等学校においては、生徒寮の開寮日は生徒寮を利用することとしてもよい）

□　上記以外の富山県内にある住居で身元引受人と同居（南砺平高等学校においては、生徒寮の開寮日は生徒寮を利用することとしてもよい）

上記のとおり相違なく、他の公立高等学校に志願しないことを証明する。

令和　　年　　月　　日

都道府県名及び学校名　　校長氏名　　印

上記のとおり相違ないことを証明する。

令和　　年　　月　　日

都道府県教育委員会名　　教育長氏名　　印

（全国様式２）

全国募集志願許可書

全国　第　　号

中学校名

本人氏名（ふりがな）

保護者氏名

令和　　年　　月　　日付けで申請のあった全国募集による入学者選抜への志願を許可します。なお、本書は、調査書等とともに志願先高等学校長に提出してください。

令和　　年　　月　　日

富山県教育委員会

教育長　　印

注　富山県立高等学校入学者選抜実施要領にしたがって志願してください。

（全国様式３）

※　No.＿＿＿＿＿＿＿＿

全国募集志願理由書

中学校名

本人氏名（ふりがな）

保護者氏名

志願先高等学校及び学科

富山県立　　高等学校	科

１　志願する理由

２　高校入学後の抱負

３　高校卒業後の進路について考えていること

［記入上の注意］
・※以外は、志願者本人が黒のボールペンを用いて自筆で記入すること。
・誤記を修正する場合は、二重線で消して訂正すること。

（全国様式４）　　（中学校で作成＝Ａ４判）

全国募集志願者名簿

中学校名		校長氏名		印
志願先高等学校名				
志願者数				名
※受付番号	志願学科	氏名	新旧別	備考

注・中学校で２部作成し、志願先高等学校長に提出する。
・新旧別の欄には、令和８年３月以前の卒業者のみを旧と略記する。
・自己申告書を提出する者については、備考欄に**「自己申告」と記入**する。
・海外在住状況等説明書の提出により、帰国生徒としての志願をする者については、備考欄に**「帰国生徒」と記入**する。
・※欄は記入しない。

以上の様式１から様式23及び全国様式１から全国様式４に記載された個人情報は、富山県立高等学校入学者選抜（志願者の確認、志願者への連絡等を含む。）に使用します。

全日制の課程　学校別入学者選抜実施概要一覧

・募集定員欄の(　)は募集定員の内数である。
・募集人員が「～程度」と表記されている場合は、推薦募集人員の上限を超えない範囲で、高等学校長が２名までの幅で募集人員を超えて合格内定者を決めることができる。
・推薦志願資格(a・b・c・d)別人員等欄のａ、ｂ、ｃ、ｄとは、令和９年度富山県立高等学校入学者募集要項第２の１(3)の規定により、推薦入学を実施する学校が同欄に明示したものを除き、同要項第２の２(4)に掲げる次のａ、ｂ、ｃ、ｄをいう。
　ａ　調査書の「学習の記録」が優良であること。
　ｂ　専門に関する優れた能力又は実績があること。
　ｃ　芸術、文化、体育のいずれかの分野において優れた能力又は実績があること。
　ｄ　生徒会活動、社会奉仕活動等学校内外における自発的な活動に継続して積極的に取り組んだ実績があること。

学校名	学科名	募集定員	コース開設学年	一般選抜				推薦選抜					
				傾斜配点	面接	実技検査	備考	募集人員	推薦志願資格(a・b・c・d)別人員等	面接	作文	実技検査内容	備考
入善	普通	１２０											
	(自然科学コース)		２年次					８程度	ａｂｃｄ合計８名 ｂ(数学・理科のいずれかに興味・関心のある者、又は体験活動、探究活動に意欲的に取り組む者) ｃ(部活動等において優れた能力又は実績があり、入学後も継続して行う意欲のある者) ｄ(生徒会やボランティア活動を継続的に行い、その活動に貢献した者)	個人	有		
	(観光ビジネスコース)		２年次					８程度	ａｂｃｄ合計８名 ｂ(地域の文化・人・自然に興味・関心のある者、又はフィールドワーク、探究活動に意欲的に取り組む者) ｃ，ｄは「自然科学コース」と同じ	個人	有		
	農業	３０						１２程度	ａｂｃｄ合計12名 ｂ(植物の栽培に興味があり、実験や実習に意欲的に取り組む者) ｃ(部活動等において優れた能力又は実績があり、入学後も継続して行う意欲のある者) ｄ(生徒会やボランティア活動を継続的に行い、その活動に貢献した者)	個人	有		
桜井	普通	１２０											
	土木	４０						１８程度	ａｂｃｄ合計18名 ｂ(数学や理科が得意で、土木技術に興味・関心のある者、又は土木系の大学等への進学や資格取得を目指す者) ｃ(芸術、文化、体育のいずれかの分野において優れた能力又は実績があり、入学後、本校の部活動等で活動する意欲のある者) ｄ(生徒会活動、社会奉仕活動等に継続的に取り組んだ実績があり、入学後も意欲をもってその活動に参加する者)	個人	有		
	生活環境	４０						１８程度	ａｂｃｄ合計18名 ｂ(技術・家庭が得意で、生活や環境に興味・関心のある者、又は生活関連産業学科への進学や資格取得を目指す者) ｃ(土木科のｃに同じ) ｄ(土木科のｄに同じ)	個人	有		
魚津	普通	１６０											
魚津工業	機械創造	８０						３２程度	ａｂｃｄ合計32名 ａ(数学、理科、技術・家庭等が得意である者、又は工業系の大学等への進学を目指す者) ｂ(機械の仕組みや機械加工などに興味・関心があり、ものづくりや資格取得に意欲をもって取り組む者) ｂ(電気の仕組みやプログラムによる制御などに興味・関心があり、ものづくりや資格取得に意欲をもって取り組む者) ｂ(デジタルものづくりやプログラミングなどに興味・関心があり、ものづくりや資格取得に意欲をもって取り組む者) ｂ(環境保全や化学の観察・実験、フィールドワークなどに興味・関心があり、ものづくりや資格取得に意欲をもって取り組む者) ｃ(部活動等に関して優れた能力、又は実績があり、入学後も継続して活動する意志のある者) ｄ(生徒会活動やボランティア活動を継続して行った実績があり、入学後もすすんで活動する意志のある者)	個人	有		
	電気情報												
	ＩＴ・環境化学												
滑川	普通	８０											
	薬業	４０						１８程度	ａｂｃｄ合計18名 ｂ(国語、数学、理科、技術・家庭のうち、いずれか３教科に優れている者) ｃ(部活動等における実績や能力があり、入学後、本校の部活動等で活動する意志のある者) ｄ(生徒会活動やボランティア活動等に継続的に取り組んだ実績のある者)	個人	有		
	商業	４０						１８程度	ａｂｃｄ合計18名 ｂ(国語、社会、数学、技術・家庭、英語のうち、いずれか３教科に優れている者) ｃ(部活動等における実績や能力があり、入学後、本校の部活動等で活動する意志のある者) ｄ(生徒会活動やボランティア活動等に継続的に取り組んだ実績のある者)	個人	有		
	海洋	４０						１８程度	ａｂｃｄ合計18名 ｂ(国語、数学、理科、保健体育、技術・家庭のうち、いずれか３教科に優れている者) ｃ(部活動等における実績や能力があり、入学後、本校の部活動等で活動する意志のある者) ｄ(生徒会活動やボランティア活動等に継続的に取り組んだ実績のある者)	個人	有		
上市	総合	８０						２４程度	ａｂｃｄ合計24名 ａ(学習活動全般に積極的に取り組みさらに向上を目指す者) ｂ(農業、家庭、福祉、商業系の専門分野に興味・関心が高い者) ｃ(部活動等に実績や意欲があり、入学後、本校の部活動等で活動する者) ｄ(生徒会活動やボランティア活動等に実績があり、入学後も積極的に活動する者)	個人	有		
雄山	普通	８０											
	生活文化	４０						１６程度	ａｂｃｄ合計16名 ａ(学習活動に顕著な成果が見られる者) ｂ(技術・家庭に興味・関心が高く、優れており、資格取得に意欲的な者) ｃ(専門学科に興味・関心がある者で、部活動等の能力又は実績があり、入学後も本校の部活動で継続して意欲的に活動する意志がある者) ｄ(生徒会活動や継続的なボランティア活動の実績があり、入学後も活躍が期待できる者)	個人	有		

☆：桜井高等学校普通科については、募集定員のうち、５名を帰国生徒の受入れ枠とする。

学校名	学科名	募集定員	コース設置年開学	一般選抜 傾斜配点	一般選抜 面接	一般選抜 実技検査	一般選抜 備考	推薦選抜 募集人員	推薦選抜 推薦志願資格(a・b・c・d)別人員等	推薦選抜 面接	推薦選抜 作文	推薦選抜 実技検査内容	推薦選抜 備考
中央農業	生物生産 園芸デザイン バイオ技術	50			集団			25	a b c d 合計25名 b(植物の栽培や動物の飼育に興味・関心が高く、意欲的に実験・実習に取り組む者) c(同一の部活動等に継続して積極的に取り組んだ実績のある者) d(生徒会活動及び学級活動において活躍した者又は奉仕活動を継続的に行った者)	個人	有		
八尾	普通	120											
	(福祉コース)		2年次					16程度	a(約8名) c d 合計(約8名) a(福祉に興味・関心がある者で、調査書の「学習の記録」が優良である者) c(福祉に興味・関心がある者で、部活動等において優れた能力又は実績があり、入学後も継続できる者) d(福祉に興味・関心がある者で、生徒会活動や継続的な社会奉仕活動の実績があり、入学後も活躍が期待できる者)	個人	有		
富山西	普通	120											
富山	普通	160											
	探究科学 理数科学 人文社会科学	(約40) 80 (約40)											
富山中部	普通	160											
	探究科学 理数科学 人文社会科学	(約40) 80 (約40)											
富山北部	普通	120											
	(体育コース)	(約40)	1年次	保体2.0倍		志願者は、以下の中から1種目を選択する。選択した種目の基礎的な能力検査を実施する。 ・陸上競技(男女) ・サッカー(男) ・テニス(男女) ・野球(男) ・フェンシング(男女) ・カヌー(男女) ・水球(男) ・剣道(男女)	学校所定の実技検査選択種目届出書の提出	24	b 24名 b(以下の種目に関して、優れた能力、又は実績がある者) ・陸上競技(男女) ・サッカー(男) ・テニス(男女) ・野球(男) ・フェンシング(男女) ・カヌー(男女) ・水球(男) ・剣道(男女) ・その他の種目	個人	有	<共通種目> ・20m折り返し走(40m走) ・立ち幅とび ・ハンドボール投げ <選択種目> 志願資格の「その他の種目」の志願者も、以下の中から1種目選択する。選択した種目の基礎的な能力検査を実施する。 ・陸上競技(男女) ・サッカー(男) ・テニス(男女) ・野球(男) ・フェンシング(男女) ・カヌー(男女) ・水球(男) ・剣道(男女)	学校所定の運動競技実績報告書及び実技検査選択種目届出書の提出
	くすり・バイオ	80						32程度	a b c d 合計32名 b(数学、理科の教科が得意であり、「薬の製造や分析」及び「人の健康」・「バイオテクノロジー」に興味・関心が高く、薬業関係への進路を目指す者) c(部活動等において実績や能力・意欲があり、入学後も継続的に部活動に参加し、学習との両立を目指す者) d(生徒会やボランティア活動を継続して行った実績があり、入学後も意欲を持ってそれらの活動に参加しようとする強い意志を持つ者)	個人	有		
	情報デザイン	40						18程度	a b c d 合計18名 b(美術、技術・家庭の教科が得意であり、デザインやコンピュータ・グラフィックスに興味・関心が高く、デザインやビジネス系の大学等へ進学を目指す者) c(くすり・バイオ科のcに同じ) d(くすり・バイオ科のdに同じ)	個人	有	円柱又は立方体のいずれかの鉛筆デッサン(60分)	
富山工業	機械工学	80						32程度	a b c d 合計32名 a(数学、理科、技術・家庭等が得意で、専門技術に興味・関心がある者、又は、工業系の大学等を目指す者) b(機械の仕組みなどに興味・関心があり、意欲をもってものづくりに取り組む者) c(部活動等において優れた能力又は実績があり、入学後も継続的に部活動に参加しようとする強い意志をもつ者) d(生徒会やボランティア活動を継続して行った実績があり、入学後も意欲をもって、その活動に参加する者)	個人	有		
	電子機械工学	40						16程度	a b c d 合計16名 a c d(機械工学科に同じ) b(機械の制御やロボットなどに興味・関心があり、意欲をもってものづくりに取り組む者)	個人	有		
	金属工学	40						16程度	a b c d 合計16名 a c d(機械工学科に同じ) b(金属加工や工業材料などに興味・関心があり、意欲をもってものづくりに取り組む者)	個人	有		
	電気工学	80						32程度	a b c d 合計32名 a c d(機械工学科に同じ) b(電気に興味・関心があり、意欲をもってものづくりに取り組む者)	個人	有		
	建築工学	40						16程度	a b c d 合計16名 a(数学、理科、技術・家庭、美術等が得意で、専門技術に興味・関心がある者、又は、建築系の大学等を目指す者) b(建築や美術の分野に興味・関心があり、意欲をもってものづくりに取り組む者) c d(機械工学科に同じ)	個人	有		
	土木工学	40						16程度	a b c d 合計16名 a c d(機械工学科に同じ) b(土木技術に興味・関心があり、意欲をもってものづくりに取り組む者)	個人	有		

☆：探究科学科は理数科学科と人文社会科学科の総称である。

学校名	学科名	募集定員	コース設置・開学年	一般選抜 傾斜配点	一般選抜 面接	一般選抜 実技検査	一般選抜 備考	推薦選抜 募集人員	推薦選抜 推薦志願資格(a・b・c・d)別人員等	推薦選抜 面接	推薦選抜 作文	推薦選抜 実技検査内容	推薦選抜 備考
富山商業	流通ビジネス	８０						４０	ａｂｃｄ合計40名	個人	有		
	ビジネスマネジメント	４０						２０	ａｂｃｄ合計20名	個人	有		
	会計ビジネス	４０						２０	ａｂｃｄ合計20名	個人	有		
	情報ビジネス	８０						４０	ａｂｃｄ合計40名	個人	有		
富山いずみ	総合	１６０						４８程度	ａｂｃｄ合計48名 a(学習活動全般に優れていて、さらに向上を目指す者) b(「英語と国語」あるいは「英語と社会」が優れていて、さらに向上を目指す者) b(「数学と理科」が優れていて、さらに向上を目指す者) b(「技術・家庭」と「国語、社会、数学、理科、英語のうち１教科」が優れていて、さらに向上を目指す者) c(部活動等において能力や実績があり、入学後も本校の部活動等で継続して意欲的に活動する意志がある者) d(生徒会活動やボランティア活動などに実績があり、入学後も継続して活動する意志がある者)	個人	有		
	看護	４０						１４程度	ａｃｄ合計14名 ａｃｄ(総合学科に同じ)	個人	有		
富山東	普通	２４０											
	(自然科学コース)	(約40)	１年次					１２程度	ａｂ合計12名 b(数学と理科に秀で、身近な自然科学の課題を見出し、探究する意欲を持つ者)	個人	有		
富山南	普通 (国際コース)	２００	２年次					１２程度	ａｂｃｄ合計12名 a(調査書の「学習の記録」が優良であり、学習意欲の高い者) b(英語の学習意欲が非常に高く、優れた成績を収めた者) c(国際関係や異文化理解に強い関心があり、芸術、文化、体育のいずれかの分野で、優れた能力又は実績がある者) d(国際関係や異文化理解に強い関心があり、生徒会活動やボランティア活動で実績がある者)	個人	有		面接は英語による問答を含む。
呉羽	普通	２３０											
	(音楽コース)	(約30)	１年次	音楽 2.0倍		＜声楽を選択する者＞ 本校教諭がピアノ伴奏し、受検者は自由曲を歌唱(３分程度)。移調を認める。 ＜器楽(ピアノ)を選択する者＞ 受検者は選択曲(推薦入学者選抜に準ずる)を演奏(３分程度)。 ＜器楽(ピアノ以外)を選択する者＞ 受検者は自由曲を演奏(３分程度)。無伴奏。 (注) ・自由曲・選択曲については、暗譜の必要はない。	学校所定の受検曲票及び楽譜の提出 (推薦入学者選抜に準ずる)	１８	b18名 b(音楽に関する優れた能力、又は実績のある者)	個人		＜声楽を選択する者＞ ・自由曲を暗譜で歌唱 ・課題曲を視唱 ＜器楽(ピアノ)を選択する者＞ ・選択曲を暗譜で演奏 ・課題曲を視唱 ＜器楽(ピアノ以外)を選択する者＞ ・自由曲を暗譜で演奏 ・課題曲を視唱 (注) ・課題曲・選択曲の詳細については、本校「推薦入学者選抜実技　検査内容について」を参照 ・歌唱については、本校教諭が伴奏を行う。	学校所定の受検曲票及び楽譜の提出
小杉	総合	１６０						５３程度	ａｂｃｄ合計53名 a(探究的な学習に関心が高く、大学への進学を目指す者) b(「技術・家庭」に優れた能力を持ち、商業・情報や食物・園芸、保育・福祉のいずれかの分野に興味・関心が高く、資格取得や実習に意欲的な者) b(「英語」に関する興味・関心が高く、英語の学習や資格取得に意欲的な者) c(美術に興味・関心と実績や能力・意欲があり、その学びを継続する意志のある者、約5名) c(柔道で優れた実績や能力・意欲があり、継続する意志のある者、約12名) c(女子ハンドボールで実績や能力・意欲があり、継続する意志のある者、約9名) c(野球で実績や能力・意欲があり、継続する意志のある者、約9名) c(その他の部活動等で実績や能力・意欲があり、継続する意志のある者) d(生徒会活動やボランティア活動を継続して行った実績があり、入学後もすすんで活動する意志のある者)	個人	有	＜ｃの美術の志願者＞ ・素描(鉛筆デッサン) ＜ｃの柔道、女子ハンドボール、野球の志願者＞ ・選択種目(柔道、ハンドボール、野球のうちから１つ)	
大門	普通	１２０											
	(情報コース)		２年次					１２程度	ａｂｃｄ合計12名 a(理工系への興味・関心があり、調査書の「学習の記録」が優良である者) b(理工系への興味・関心があり、「数学・理科・英語」のうち、いずれかの２教科について優れた能力・実績がある者) c(理工系への興味・関心があり、芸術、文化、体育のいずれかの分野において優れた能力・実績がある者) d(理工系への興味・関心があり、生徒会やボランティア活動に積極的に取り組んだ実績がある者)	個人	有		
新湊	普通	１２０											
	商業	４０						１８程度	ａｂｃｄ合計18名 a(学習活動に顕著な成果がみられ、入学後もさらにその向上を目指す意欲のある者) b(珠算、英語等、商業関連の検定資格を有し、入学後もさらに高度な検定資格取得を目指す意欲のある者) c(野球などの部活動等において優れた能力や実績があり、入学後も継続して部活動に取り組む意欲のある者) d(生徒会活動、ボランティア活動、地域貢献活動等において功績があり、入学後も継続して取り組む意欲のある者)	個人	有		

学校名	学科名	募集定員	コース開設学年	一般選抜				推薦選抜					
				傾斜配点	面接	実技検査	備考	募集人員	推薦志願資格(a・b・c・d)別人員等	面接	作文	実技検査内容	備考
高岡	普通	160											
	探究科学☆ 理数科学 / 人文社会科学	(約40) 80 (約40)											
高岡工芸	機械	40						16程度	a b c d合計16名 a(数学、理科、技術・家庭の教科が優良で、当該学科の専門科目について学ぶ意欲があり、大学等への進学や資格取得を目指す者) b(ものづくりが好きで、機械の構造に興味・関心があり、製作や実験に積極的に取り組む意欲のある者) c(部活動等において優れた能力又は実績を持ち、入学後も部活動等を継続し、学業と両立する強い意志を持つ者) d(生徒会活動やボランティア活動の実績があり、その活動に貢献した者)	個人	有		
	電子機械	40						16程度	a b c d合計16名 a(機械科のaに同じ) b(ものづくりが好きで、メカトロニクスやコンピュータの活用に興味・関心があり、製作や実験に積極的に取り組む意欲のある者) c(機械科のcに同じ) d(機械科のdに同じ)	個人	有		
	電気	40						16程度	a b c d合計16名 a(機械科のaに同じ) b(ものづくりが好きで、電気やコンピュータの仕組みに興味・関心があり、製作や実験に積極的に取り組む意欲のある者) c(機械科のcに同じ) d(機械科のdに同じ)	個人	有		
	建築	40						16程度	a b c d合計16名 a(数学、理科、美術、技術・家庭の教科が優良で、当該学科の専門科目について学ぶ意欲があり、大学等への進学や建築技術者を目指す者) b(建築の設計・施工に興味・関心があり、将来、建築技術者を目指す者) c(機械科のcに同じ) d(機械科のdに同じ)	個人	有		
	土木環境	40						16程度	a b c d合計16名 a(機械科のaに同じ) b(測量や土木構造物、環境問題に興味・関心があり、将来、土木や環境化学の分野の技術者を目指す者) c(機械科のcに同じ) d(機械科のdに同じ)	個人	有		
	工芸	30						12程度	a b c d合計12名 a(国語、美術、技術・家庭の教科が優良で、将来にわたり美術工芸の学習を深めたい者や大学等への進学を目指す者) b(地場産業である木材工芸、金属工芸、漆工芸等の伝統工芸に興味・関心があり、将来、関連分野での活躍を目指す者) c(機械科のcに同じ) d(機械科のdに同じ)	個人	有	立体制作とそのスケッチ	
	デザイン・絵画	40						20	a b c d合計20名 a(国語、美術、技術・家庭の教科が優良で、将来、美術やデザインの専門職を目指す者や大学等への進学を目指す者) b(各種応募作品展等で入選実績がある者や、将来、デザイン・絵画等の分野での活躍を目指す者) c(機械科のcに同じ) d(機械科のdに同じ)	個人	有	鉛筆デッサン	
高岡商業	流通ビジネス	80						40	a b c d合計40名	個人	有		
	国際ビジネス	40						20	a b c d合計20名	個人	有		
	会計ビジネス	40						20	a b c d合計20名	個人	有		
	情報ビジネス	40						20	a b c d合計20名	個人	有		
伏木	国際交流	80						25程度	a b c d合計25名 a(調査書の「学習の記録」が優良である者) b(外国語や国際交流等に興味・関心が高く、それらに積極的に取り組む意欲のある者) c(運動部や文化部等の活動において能力、意欲又は実績があり、入学後も継続できる者) d(生徒会活動やボランティア等で実績があり、入学後も継続する意欲のある者)	個人	有		
高岡南	普通	160											
	(人文科学コース)		2年次					12程度	a b合計12名 b(国語・社会・英語の3教科について優れた能力、又は実績を有する者)	個人	有		
福岡	普通	120											
	(英語コース)		2年次					16程度	a b c d合計16名 a(調査書の「学習の記録」が優良であり、各教科に対する学習意欲が高い者) b(英語に優れた能力及び実績があり、さらに高める意欲のある者) c(英語に興味・関心があり、芸術、文化、体育のいずれかの分野で優れた能力又は実績がある者) d(英語に興味・関心があり、生徒会活動やボランティア活動で実績がある者)	個人	有		面接は英語による面接を含む

☆：探究科学科は理数科学科と人文社会科学科の総称である。

学校名	学科名	募集定員	コース設置学年	一般選抜				推薦選抜					
				傾斜配点	面接	実技検査	備考	募集人員	推薦志願資格（a・b・c・d）別人員等	面接	作文	実技検査内容	備考
氷見	普通	８０											
	農業科学	(20) ４０						８程度	a b合計(約４名) c d合計(約４名) b(理科、技術・家庭に優れ、未来に向けた地域農業の課題解決に興味・関心があり、探究的な学習に意欲をもつ者) c(ハンドボール、野球、自転車などの活動に優れた能力や実績があり、入学後もそれらを継続し積極的に活動する意志をもつ者) d(生徒会活動・ボランティア活動等において優れた能力や顕著な実績があり、入学後も積極的に活動する意志のある者)	個人	有		
	海洋科学	(20)						８程度	a b合計(約４名) c d合計(約４名) b(理科、技術・家庭に優れ、日本の水産・海洋分野の課題解決に興味・関心があり、探究的な学習に意欲をもつ者) c d(農業科学科のｃｄに同じ)	個人	有		
	ビジネス	４０						１８程度	a b合計(約４名) c d合計(約14名) b(英語、国語又は社会に優れ、商品やサービスの開発を通じた地域経済の活性化に興味・関心があり、探究的な学習に意欲をもつ者) c d(農業科学科のｃｄに同じ)	個人	有		
	生活福祉	４０						１８程度	a b合計(約８名) c d合計(約10名) b(国語又は英語、技術・家庭に優れ、ヒューマンケアや食物調理、ファッションなどに興味・関心があり、それらを通じた地域との交流活動や探究的な学習に意欲をもつ者) c d(農業科学科のｃｄに同じ)	個人	有		
砺波	普通	１６０											
砺波工業	機械システム学 電気情報システム学 地域デザイン学	１００						４０程度	a b c d合計40名 a(数学、理科、技術・家庭が優良で、専門技術に興味・関心がある者、又は大学等への進学をめざす者) b(学科・コースの教育内容に興味・関心があり、専門技術の向上や資格取得に積極的に取り組む意欲がある者) c(部活動等において優れた能力又は実績があり、入学後の部活動等で継続して意欲的に取り組んでいく意志のある者) d(生徒会活動やボランティア活動を継続して行った実績があり、入学後もすすんで活動する意志のある者)	個人	有		
南砺福野	普通	１６０											
	国際	３０						１０程度	a b c d合計10名 a(学習活動全般にわたり真面目に取り組み、その成果が認められる者) b(英語に優れ、外国文化に興味・関心のある者) c(芸術・文化、体育のいずれかの分野において優れた能力又は実績があり、入学後も活動し、学習との両立を目指す者) d(生徒会活動、ボランティア活動等に自発的、継続的に取り組んだ実績があり、入学後も継続して行う意欲のある者)	個人	有		面接は英語による面接を含む
	農業環境	３０						１２程度	a b c d合計12名 a(国際科のａに同じ) b(農業に興味・関心が高く、農業や農業土木に関する進路を目指す者) c(国際科のｃに同じ) d(国際科のｄに同じ)	個人	有		
	福祉	３０						１５	a b c d合計15名 a(国際科のａに同じ) b(高齢者福祉・障害者福祉について興味・関心が高く、福祉に関する進路を目指す者) c(国際科のｃに同じ) d(国際科のｄに同じ)	個人	有		
南砺平	普通	３０											
石動	普通	８０											
	商業	４０						１８程度	a b c d合計18名 a(学習活動全般に工夫をし、その成果が見られ、さらに向上を目指す者) b(商業の学習に関連する検定資格〈珠算、英語、情報処理等〉を持ち、さらに資格取得を目指す者) c(ホッケー、野球、その他の部活動や社会体育活動に優れた能力又は実績があり、入学後もその活動を継続し、学習との両立を目指す者) d(生徒会活動や社会奉仕的活動に顕著な実績があり、入学後も継続して活動することを目指す者)	個人	有		

☆：氷見高等学校普通科については、募集定員のうち、３名を全国募集による入学者選抜の受入れ枠とする。
氷見高等学校農業科学科、海洋科学科、ビジネス科及び生活福祉科については、募集定員のうち、合わせて５名を全国募集による入学者選抜の受入れ枠とする。
南砺平高等学校普通科については、募集定員のうち、６名を全国募集による入学者選抜の受入れ枠とする。

	全日制の課程の入学者選抜	一般選抜			推薦選抜		
		傾斜配点	面接	実技検査	面接	作文	実技検査
実施校数	３４校	２校	１校	２校	２７校	２６校	４校
実施学科数	８２学科	２学科	３学科	２学科	６２学科	６１学科	６学科
合計	募集定員　５，８００名				推薦選抜　募集人員　１，１５２名		

学校別全国募集による入学者選抜実施概要一覧

学校名	学科名	募集定員	選抜方法	備考
氷見	普通	3	作文 面接	
	農業科学 海洋科学 ビジネス 生活福祉	5	作文 面接	
南砺平	普通	6	作文 面接	
合計		14		

定時制の課程　学校別入学者選抜実施概要一覧

学校名	学科名	募集定員	授業開設形態	作文	面接	学力検査	備考
新川みどり野	普通	約120	昼間単位制Ⅰ部(約40) 昼間単位制Ⅱ部(約40) 夜間単位制(約40)	有	個人	国語 数学	
	福祉教養	約 40	昼間単位制Ⅰ部	有	個人		
富山工業	機械	約 40	夜間制	有	併用	国語 数学	・生産機械科は富山県技術専門学院 金属加工科(短期課程)の合格者を対象とする。 ・第２次選抜の検査実施日は、令和９年３月31日(水)の予定。
	電気	約 40	夜間制	有	併用		
	生産機械	約 40	夜間制(技能連携)	有	併用		
雄峰	普通	約200	昼間単位制Ⅰ部(約80) 昼間単位制Ⅱ部(約40) 夜間単位制(約80)	有	個人	国語 数学	
	総合ビジネス	約 40	夜間単位制	有	個人		
	生活文化	約 40	昼間単位制Ⅰ部	有	個人		
志貴野	普通	約 80	昼間単位制Ⅰ部(約40) 夜間単位制(約40)	有	個人	国語 数学	
	国際教養	約 40	夜間単位制	有	個人		
	総合ビジネス	約 80	昼間単位制Ⅰ部(約40) 昼間単位制Ⅱ部(約40)	有	個人		
	生活文化	約 40	昼間単位制Ⅱ部	有	個人		
小矢部園芸	園芸	約 40	昼間単位制	有	個人	国語 数学	
となみ野	普通	約 80	昼間単位制Ⅰ部(約40) 昼間単位制Ⅱ部(約40)	有	個人	国語 数学	
	総合福祉	約 40	昼間単位制Ⅰ部	有	個人		
合計		約960					

通信制の課程　入学者選抜実施概要一覧

学校名	学科名	募集定員	選抜方法	提出書類
雄峰	普通 衛生看護	約300	面接等	・入学願書(学校所定のもの) ・調査書(ただし、令和３年３月以前の卒業者については、出身中学校等の卒業証明書をもって代えることができる) ・衛生看護科を志願する者は、富山市医師会看護専門学校准看護学科の合格証の写し

専攻科　学校別入学者選抜実施概要一覧

学校名	学科名	募集定員	選抜方法	提出書類
中央農業	農業			
	・担い手育成コース	約 10	面接 作文	・入学願書(学校所定のもの)　・履歴書(学校所定のもの) ・卒業見込み証明書又は卒業証明書　・営農状況調査書(学校所定のもの) ・出身高等学校長等又は地域農林振興センター所長の推薦書(学校所定のもの)
	・庭園コース	約 10	面接 作文 実技	・入学願書(学校所定のもの) ・履歴書(学校所定のもの)
雄峰	生活科学 ・調理製菓課程 (午前部) (午後部)	60 (30) (30)	面接 作文	・入学願書(学校所定のもの) ・高等学校等調査書又は成績証明書 ・成績証明書を提出した者のみ卒業証明書
小矢部園芸	園芸	約 40	面接 作文	・入学願書(学校所定のもの)　・履歴書(学校所定のもの) ・高等学校等卒業見込み証明書又は卒業証明書等
合計		約120		

令和９年度富山県立高等学校全日制の課程第１学年募集定員

学校名	学科名	募集定員	備考
入善	普通	１２０	
	(自然科学コース)		(※)
	(観光ビジネスコース)		(※)
	農業	３０	※
桜井	普通	１２０	
	土木	４０	※
	生活環境	４０	※
魚津	普通	１６０	
魚津工業	機械創造 電気情報 (電気エネルギーコース) (情報システムコース) ＩＴ・環境化学 (ＩＴコース) (環境化学コース)	８０	※
滑川	普通	８０	
	薬業	４０	※
	商業	４０	※
	海洋	４０	※
上市	総合	８０	※
雄山	普通	８０	
	生活文化	４０	※
中央農業	生物生産 (作物科学コース) (動物科学コース) 園芸デザイン (園芸福祉コース) (環境緑化コース) バイオ技術 (生物工学コース) (食品加工コース)	５０	※
八尾	普通 (福祉コース)	１２０	(※)
富山西	普通	１２０	
富山	普通	１６０	
	理数科学 人文社会科学	８０	探究科学科
富山中部	普通	１６０	
	理数科学 人文社会科学	８０	探究科学科
富山北部	普通	１２０	
	(体育コース)	(約40)	(※ 定員の内数)
	くすり・バイオ	８０	※
	情報デザイン	４０	※
富山工業	機械工学	８０	※
	電子機械工学	４０	※
	金属工学	４０	※
	電気工学	８０	※
	建築工学	４０	※
	土木工学	４０	※

学校名	学科名	募集定員	備考
富山商業	流通ビジネス	８０	※
	ビジネスマネジメント	４０	※
	会計ビジネス	４０	※
	情報ビジネス	８０	※
富山いずみ	総合	１６０	※
	看護	４０	※
富山東	普通	２４０	
	(自然科学コース)	(約40)	(※ 定員の内数)
富山南	普通	２００	
	(国際コース)		(※)
呉羽	普通	２３０	
	(音楽コース)	(約30)	(※ 定員の内数)
小杉	総合	１６０	※
大門	普通	１２０	
	(情報コース)		(※)
新湊	普通	１２０	
	商業	４０	※
高岡	普通	１６０	
	理数科学 人文社会科学	８０	探究科学科
高岡工芸	機械	４０	※
	電子機械	４０	※
	電気	４０	※
	建築	４０	※
	土木環境	４０	※
	(土木工学コース)		
	(環境化学コース)		
	工芸	３０	※
	デザイン・絵画	４０	※
高岡商業	流通ビジネス	８０	※
	国際ビジネス	４０	※
	会計ビジネス	４０	※
	情報ビジネス	４０	※
伏木	国際交流	８０	※
	(中国語コース)		
	(韓国語コース)		
	(ロシア語コース)		
高岡南	普通	１６０	
	(人文科学コース)		(※)
福岡	普通	１２０	
	(英語コース)		(※)
氷見	普通	８０	◆
	農業科学	(20)	※ ◆
		４０	
	海洋科学	(20)	※ ◆
	ビジネス	４０	※ ◆
	生活福祉	４０	※ ◆
砺波	普通	１６０	

学　校　名	学　科　名	募集定員	備　　考
砺波工業	機械システム学 電気情報システム学 (エネルギーシステムコース) (情報システムコース) 地域デザイン学 (都市デザインコース) (プロジェクトデザインコース)	１００	※
南砺福野	普　　通 国　　際 農業環境 福　　祉	１６０ ３０ ３０ ３０	 ※ ※ ※
南砺平	普　　通	３０	◆
石　　動	普　　通 商　　業	８０ ４０	 ※
合　　計		５，８００	

（注１）桜井高等学校普通科については、募集定員のうち、５名を帰国生徒の受入れ枠とする。

（注２）備考欄の※は推薦入学者選抜の対象学科・コースを示す。

（注３）備考欄の◆は全国募集による入学者選抜の対象学科を示す。

（注４）募集定員の記載がないコースは、２年次に開設されるものである。

（注５）氷見高等学校普通科については、募集定員のうち、３名を全国募集による入学者選抜の受入れ枠とする(募集定員の内数)。
氷見高等学校農業科学科、海洋科学科、ビジネス科及び生活福祉科については、募集定員のうち、合わせて５名を全国募集による入学者選抜の受入れ枠とする(募集定員の内数)。なお、学科ごとの合格者の上限は、募集定員の 10%とする。

（注６）南砺平高等学校普通科については、募集定員のうち、６名を全国募集による入学者選抜の受入れ枠とする(募集定員の内数)。

学科等区分	普通	普通系専門学科		職業系専門学科							総合	合計	対前年度増減
		理数科学 人文社会科学	国際	農業	水産	工業	商業	家庭	看護	福祉			
学級数	78	6	3	5	2	24	16	3	1	1	10	149	－　5
募集定員	3,100	240	110	130	60	930	640	120	40	30	400	5,800	－126

※　氷見高等学校の農業科学科と海洋科学科は、農業と水産のそれぞれに１学級として集計

※　探究科学科は、理数科学科と人文社会科学科の２学科の総称

※　募集定員は、全国募集１４名を含めて集計

令和９年度富山県立高等学校定時制の課程
第１学年募集定員

学　校　名	学　科　名	募集定員	備　　考
新　　川 みどり野	普　　通 福祉教養	約１２０ 約　４０	単位制
富山工業	機　　械 電　　気 生産機械	約　４０ 約　４０ 約　４０	
雄　　峰	普　　通 総合ビジネス 生活文化	約２００ 約　４０ 約　４０	単位制
志貴野	普　　通 国際教養 総合ビジネス 生活文化	約　８０ 約　４０ 約　８０ 約　４０	単位制
小矢部園芸	園　　芸	約　４０	単位制
となみ野	普　　通 総合福祉	約　８０ 約　４０	単位制
合　　計		約９６０	

令和９年度富山県立高等学校通信制の課程
第１学年募集定員

学　校　名	学　科　名	募集定員	備　　考
雄　　峰	普　　通 衛生看護	約３００	単位制
合　　計		約３００	

令和９年度富山県立高等学校専攻科
第１学年募集定員

学　校　名	学　科　名	募集定員	備　　考
中央農業	農　　業 ・担い手育成コース ・庭園コース	 約　１０ 約　１０	
富山いずみ	看　　護	４０	富山いずみ高校看護科卒業者を対象とする。
雄　　峰	生活科学 ・調理師養成課程	 ６０	
小矢部園芸	園　　芸	約　４０	
合　　計		約１６０	

令和９年度富山県立高等学校入学者選抜日程

項目				期間等
中学校学習成績等一覧表の提出				令和９年１月19日(火)まで
県外海外志願者の特別事情申請の受付				推薦選抜　１月15日(金)午前９時～１月29日(金)正午 一般選抜　１月15日(金)午前９時～２月22日(月)正午
全国募集志願許可申請の受付				１月15日(金)午前９時～１月29日(金)正午
全日制		推薦選抜	志願期間	２月１日(月)午前９時～２月３日(水)正午
			面接等実施期日	２月９日(火)
			合格内定の通知	２月15日(月)午前10時
			合格者の発表	３月18日(木)午後０時30分
		全国募集	志願期間	２月１日(月)午前９時～２月３日(水)正午
			検査実施期日	２月９日(火)
			合格者の発表	２月15日(月)午後０時30分
		一般選抜	志願期間	２月24日(水)午前９時～２月26日(金)正午
			学力検査実施期日	３月９日(火)・３月10日(水)
			追検査実施期日	３月15日(月)
			合格者の発表	３月18日(木)午後０時30分
全日制第２次			志願期間	３月19日(金)午前９時～３月23日(火)午後４時
			合格者の発表	３月26日(金)午後０時30分
定時制	単位制前期	第１次	志願期間	２月24日(水)午前９時～２月26日(金)正午
			検査実施期日	３月９日(火) ３月10日(水)　面接予備日
			合格者の発表	３月18日(木)午後０時30分
		第２次	志願期間	３月19日(金)午前９時～３月23日(火)午後４時
			検査実施期日	３月26日(金)
			合格者の発表	３月29日(月)午後０時30分
	単位制以外	第１次	志願期間	３月19日(金)午前９時～３月23日(火)午後４時
			検査実施期日	３月26日(金)
			合格者の発表	３月29日(月)午後０時30分
		第２次	志願期間	３月29日(月)午後１時～３月30日(火)午後４時
通信制			志願期間	３月19日(金)午前９時～３月23日(火)午後４時
			検査実施期日	３月26日(金)
			合格者の発表	３月29日(月)午後０時30分
通信制第２次			志願期間	３月29日(月)午後１時～３月30日(火)午後４時

(注)「定時制の課程の単位制以外」、「通信制の課程」の第２次検査実施日、及び「定時制の課程の単位制」で第２次選抜後に再度選抜を行う場合の検査実施日は、各高等学校長が定め、志願者に通知する。

項目			期間等
定時制	単位制後期	志願期間	９月１日(水)午前９時～９月３日(金)正午
		検査実施期日	９月10日(金)
		合格者の発表	９月14日(火)午後０時30分

富山県立高等学校入学者選抜に関する問い合わせ先

富山県教育委員会　教育みらい室県立高校課　高校教育担当

〒930-8501 富山県富山市新総曲輪１番７号
電話　076-444-3450（直通）
FAX　076-444-4437

富山県立高等学校入学者選抜ホームページ
https://www.pref.toyama.jp/300201/kyouiku/kenritsukoukou/09senbatsu.html

※　富山県内の中学校及び市町村教育委員会からの問い合わせは、東部教育事務所、又は、西部教育事務所へお願いします。